

教職課程科目「特別活動論の指導法」に関する考察

高橋 正尚

1 はじめに

筆者は、横浜市内中学校教員として採用された1986（昭和61）年から横浜市生徒指導研究会に所属し、主に学級活動の実践と研究を行ってきた。その後、横浜市教育課程編成委員会の特別活動委員長（2000（平成12）年～2006（同18）年）や横浜市評価研究会の特別活動委員長（2000（同12）年～2001（同13）年）として横浜市独自の指導資料の作成や評価資料の作成を担当してきた。その間、2年間にわたって「中学校学級活動の指導展開例」という論稿を『中学校教育』小学館に連載した⁽¹⁾。また、2010（同22）年には横浜版学習指導要領「特別活動編」⁽²⁾の中学校側の責任者として編集・執筆を担当し、各学校で特別活動の教育課程を編成する際のベースとなる年間指導計画例（特に学級活動と生徒会）を作成した。

平成28年4月から神奈川大学で「特別活動論」の授業を担当して、今年で3年目になる。最初

の2年間は、『神奈川大学教職課程「特別活動論」テキスト 為すことによって学ぶ』⁽³⁾と、『中学校学習指導要領解説 特別活動編』⁽⁴⁾を使って主に講義式の授業を実践してきた。一方、教育機関で実施した「免許状更新講習 カリキュラム・マネジメントの講座」では、演習形式の授業を展開した。その結果、主体的な学びが実現でき、授業のねらいを達成することができた。そこで平成30年度は、演習形式を多く取り入れた授業を展開した。本実践報告では、演習形式の授業の一つを紹介する。

2 教職課程科目「特別活動論」の目標とシラバス

中学校の特別活動では3年間という長いスパンの中で集団づくりや人間関係づくりを行っていくことが大切である。平成29年3月31日に告示された中学校学習指導要領⁽⁵⁾では、特別活動について次のように示されている。

第5章 特別活動

第1目 標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

(3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

今回の改訂では、教科横断的・総合的に育成すべき資質・能力を(1)「知識及び技能」、(2)「思考力、判断力、表現力等」、(3)「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱としてまとめているが、具体的には次のように示している。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。(知識及び技能)
- (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)」

筆者は、教職課程科目「特別活動論」の授業においても上記の3つの資質・能力の育成を目指し、それらをどのように育成していくべきかを意識して授業を行ってきた。特に特別活動の目標、各活動や学校行事の目標と内容、指導上の配慮事項、年間指導計画作成上の配慮事項等を理解させることに重点を置いて授業を展開してきた。

本授業は、特別活動の特質、教育課程上の位置づけ、各活動の目標・内容、年間指導計画作成方法などを理解させるとともに、新学習指導要領で育成する資質・能力の3つの柱の内容と指導方法について学習を深めることを目的としている(表1)。本稿では特に第5～第7回目の「生徒会、学校行事の企画案作成」の実践事例を紹介する。

関連するディプロマポリシー Related Diploma Policy
<p>自立した良識ある市民としての判断力と実践力 /Judgment and practical ability as an independent citizen of sound sense</p> <p>時代の課題と社会の要請に応えた専門的知識と技能 /Expert knowledge and skills to address the issues of the age and the demands of society</p>
到達目標 Target to be Reached
<p>特別活動は、生徒が集団の一員として望ましい人間関係を形成し、よりよい生活を築こうとする自主的・実践的態度を育てることを目標とする。そこで本授業は、受講生自らが魅力的な特別活動の在り方を模索し、人間の在り方や生き方について自覚を深め、自己を生かす能力を身につけることを到達目標とする。</p>
授業内容 Course Content
<p>学級・ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事の特別活動の内容と各内容に含まれるボランティア活動、さらに部活動について、グループワークを中心にして理解を深める。受講人数に応じて演習や発表の形態ならびに授業計画を調整する。</p>

授業計画 Course Planning
毎回の授業で予習・復習に相当する内容の課題を課すため、4時間以上の自宅学習が必要である。
第1回 オリエンテーション（授業の進め方と学習方法、特別活動の目標、シラバス記載事項の確認）
第2回 特別活動とは（特別活動の特質と意義、教育課程上の位置づけ）
第3回 学級活動・ホームルーム活動（学級・ホームルームとは、学級の機能、活動の内容）
第4回 学級活動・ホームルーム活動①（学級活動の諸課題）
第5回 学級活動・ホームルーム活動②（演習：学級指導展開例の作成、学級開きなど）
第6回 生徒会活動①（生徒会活動の意義、生徒会活動の指導の在り方）
第7回 生徒会活動②（演習：地域からの苦情への対応策、中学校生活体験活動の企画）
第8回 学校行事①（儀式的行事、旅行・集団宿泊の行事で留意すべきこと）
第9回 学校行事②（演習：旅行・集団宿泊の行事の企画、文化的行事の振り返り）
第10回 ボランティア活動①（学校におけるボランティア活動：中学校の活動事例、高等学校の活動事例）
第11回 ボランティア活動②（演習：ボランティア活動の実践に向けて、学級委員会による企画例）
第12回 特別活動の配慮すべき事項（他の領域や指導との関係、地域との連携、特別活動の評価）
第13回 部活動について①（部活動の実態と意義、部活動が抱える問題点と解決への模索）
第14回 部活動について②（演習：顧問教員の心構え）
授業運営 Course Management
グループワークや相互評価活動が多くなるため、積極的な活動と参加が求められる。
評価方法 Evaluation Method
受講生に対する評価は、授業への取り組み50%と提出物50%による。
使用書 Textbook (s)
第1回授業で指示する。
参考書 Book (s) for Reference
『中学校学習指導要領』文部科学省（平成29年3月告示）
『中学校学習指導要領』文部科学省（平成20年3月告示）
『高等学校学習指導要領』文部科学省（平成30年3月告示）
『高等学校学習指導要領』文部科学省（平成21年3月告示）
『中学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省（平成29年7月）
『中学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省（平成20年7月）
『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省（平成30年）
『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省（平成21年7月）

表1 平成30年度「特別活動論」シラバスより

3 生徒会活動（シラバス第5回～第7回）の実践事例

以下の内容でシラバス第5回～第7回の授業を実践した。

- (1) 第5回授業 学級活動・ホームルーム活動②+（次回）生徒会活動事前指導15分
- (2) 第6回授業 生徒会活動①（生徒会活動の意義、生徒会活動の支援の在り方）
- (3) 第7回授業 生徒会活動②（演習：地域からの苦情への対応策、中学校生活体験活動の企画）+グループ毎に「中学校生活体験活動指導企画書」の発表と相互評価
- (4) 以上(1)～(3)の授業後アンケートにより受講生の学習状況に関する調査を実施し、分析・考察した。

4 第5回授業 学級活動・ホームルーム活動②+（次回）生徒会活動事前指導15分

第5回では、次回授業の生徒会活動の演習方法について事前に説明した。これは、受講生に授業の見通しを持たせ、次回の「演習課題」について事前に学習させることで、グループ討議が活発になることをねらったものである。また、「演習課題」と受講生自身の小中高校時代の特別活動の体験を関連づけて考えることが課題の解決に役立つと考えたためである。

演習は、「演習の展開例」図1の手順で実施した。課題についてレポートをまとめるために必要な生徒会の目標、内容、生徒会組織の例、活動内容例などの資料を配布した。また、参考図書⁽⁶⁾も事前に紹介した。

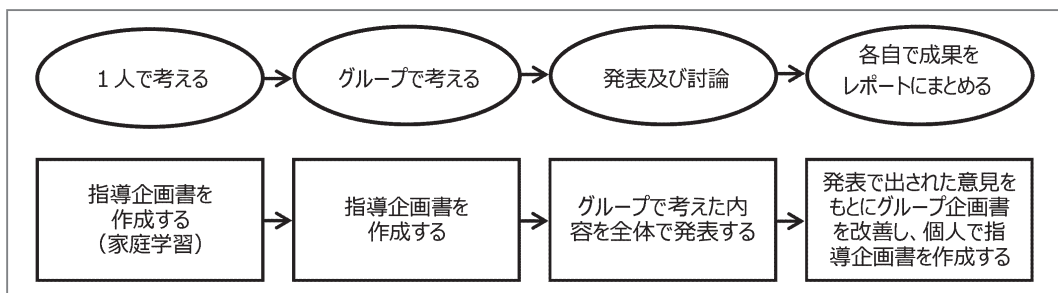


図1 演習の展開例

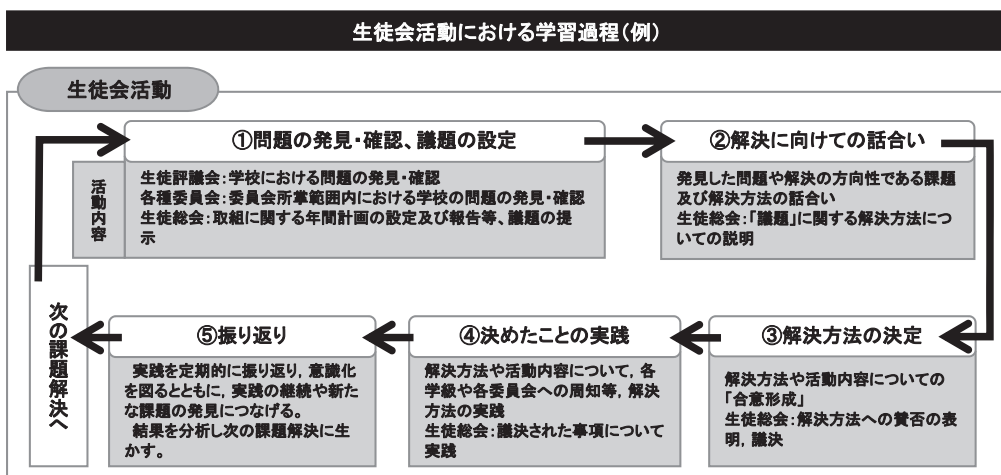


図2 生徒会活動における学習過程（例）

出典『中学校学習指導要領解説 特別活動編』p. 75

また、平成29年告示の『中学校学習指導要領解説 特別活動編』p.75⁽³⁾に示されている「生徒会活動における学習過程（例）」図2をもとに生徒会活動のPDCAサイクルを解説し、指導計画作成が全体のどの部分にあたるかを明確にした。

大学では授業に臨むにあたって予習が重要である。受講生各自が演習課題（表2）について、生徒会を動かして解決する方法をレポートにまとめてくるという課題を出した。グループは4つ。グループの構成は受講生が話し合っ

た。グループは以下の通りである。

- Aグループ3名（法学部法律学科1
工学部総合工学プログラム1
外国語学部中国語学科1）
- Bグループ5名（人間科学部人間科学科5）
- Cグループ4名（法学部法律学科1
経済学部現代ビジネス学科1
工学部経営工学科1
外国語学部英語英文学科1）
- Dグループ4名（外国語学部英語英文学科4）

第5回授業【演習課題】

あなたが勤務する学校に対して近隣の住民から、最寄り駅からの通学路に関する次のような苦情が寄せられました。

- 1 生徒が歩道を横に広がって歩くため、駅に向かう住民が歩行困難になる。
- 2 そのため、雨の日やベビーカーを押して歩く人が生徒に道を譲ってもらえない。
- 3 さらに信号の無い交差点では、集団登校の小受講生が待たされている。

そこで、生徒会を動かして、これらの問題を解決していくための指導企画書を作成することになった。あなたの考えた企画書案を作成しなさい。

- ※ 各グループで話し合っ
- ※ 各グループの発表時間は10分、質疑応答は5分、評価シートの記入は5分

表2 演習課題例

5 第6回授業 生徒会活動①（生徒会活動の意義、生徒会活動の支援の在り方）

導企画書（生徒会顧問の教員が本部役員に説明するための指導案）作成のグループワーク」の授業を実施した。展開例は以下の通りである。

本授業では、「生徒会活動の意義の講義と指

第6回授業

①生徒会活動の目標、内容、生徒会活動で育てる力について講義

②各グループ協議。受講生が各自考えてきた意見をグループ内で発表し、話し合っ

生徒会活動指導企画書（案）

- 1 指導テーマ 歩行マナーの理解と周知徹底
 - 2 テーマ設定の理由
 - 3 活動期間
 - 4 活動の方法
- (1) 生徒会顧問から生徒会本部役員への指導内容

- ・生徒会本部の活動内容
- ・生徒会本部の指示で各種委員会を動かす方法 … 各種委員会の活動案
(例) 学級委員会, 広報新聞委員会, 図書委員会, 生活委員会など
- ・生徒会と関係諸機関と連携した活動案
※企画書案は生徒会本部役員と顧問で協同して作成
※関係諸機関 … PTA 校外委員会, 所轄警察署, 地域の自治会など

5 生徒を指導する上での留意点

表3 第6回授業の概要

第6回授業で「生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営」について指導する際は、最初に生徒会活動の目標、内容と生徒会活動の知識及び技能について講義し、次に指導企画書案

を作成させた。中学校学習指導要領（平成29年3月告示）の特別活動の生徒会活動の目標としては、次の内容が示されている。

〔生徒会活動〕

1 目 標

異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

2 内 容

1の資質・能力を育成するため、学校の全生徒をもって組織する生徒会において、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。

(1) 生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営

生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見いだし解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。

(2) 学校行事への協力

学校行事の特質に応じて、生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりすること。

(3) ボランティア活動などの社会参画

地域や社会の課題を見いだし、具体的な対策を考え、実践し、地域や社会に参画できるようにすること。

表4 中学校学習指導要領（平成29年3月告示）の特別活動の生徒会活動の目標

今回の演習で目標としている知識・技能は、筆者が以下のように設定した。

- ①話し合いの進め方（一人ひとりが自分の意見をしっかりと述べる。人の意見を十分に聞き、「よりよい考え方」を見つける。役割分担など）
- ②発表資料のまとめ方（パワーポイント作成、模造紙）
- ③生徒に分かりやすく説明する方法
- ④指導企画書案を作成する方法（Why何のために行うのか、Whenいつ行うのか、Whereどこで行うのか、What何を行うのか、Who誰が（生徒会のどの組織が）行うのか、Howどのように行うのか、外部機関との連携）

表5 演習で目標としている知識・技能

6 第7回授業 生徒会活動② （演習：地域からの苦情への対応策，中学校生活体験活動の企画）

第7回授業ではグループ毎に作成した「指導企画書案」の発表会と相互評価を行い、発表し

た指導企画書案の改善作業を行った。改善案については、受講生から出た意見や各自が作成した評価カードをもとに、各個人で作成させた。演習での発表と評価の方法は、以下の通りである。

第7回授業 演習での発表と相互評価

演習での発表会への臨み方と評価カードの記入方法について説明後、発表会を開始した。

- ・指導企画書案の内容が実際に活動できる企画かどうか確認する。
- ・各グループの発表を聴いて、効果的な取組かどうか、実施上の課題・改善点は何かなどについて各自の意見や感想をまとめさせ、質疑応答の際に必ず2名以上発表させる。
- ・各グループの発表資料は、パワーポイントで発表した指導企画書案とする。
- ・『企画書案』発表の流れについては、以下の方法をとった。

- 1 具体的に、分かりやすく説明する。（中受講生に理解させるイメージ）
- 2 発表の役割分担を決めておく。
- 3 必ず事前にリハーサルをする。
- 4 時間配分（計30分）

発表時間	10分
質疑応答	10分（各グループから必ず意見を発表する。）
評価シート記入	10分

表6 第7回授業の概要

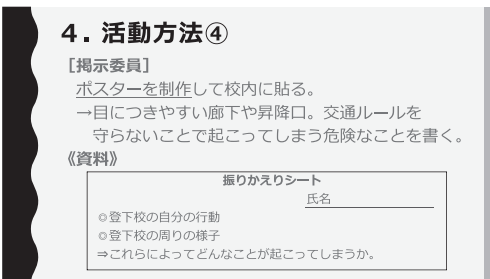
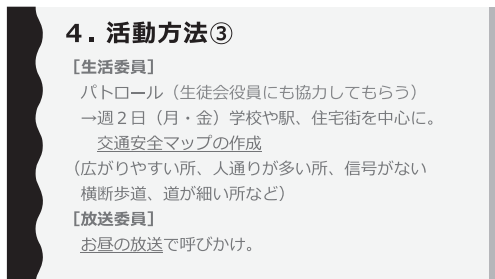
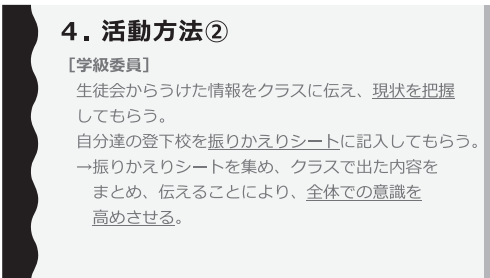
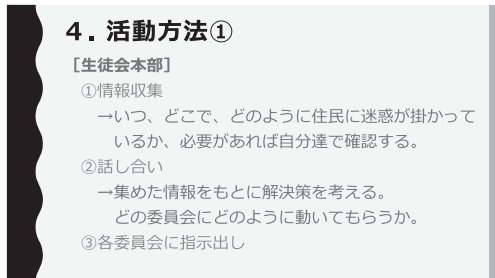
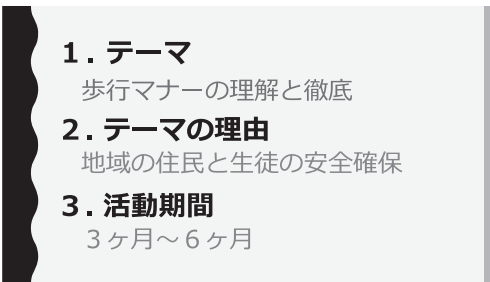
（1）発表事例1（資料1参照）

事例1のグループは、「歩行マナーの理解と徹底」を指導企画書テーマとして設定した。地域から苦情を受けた後、生徒会本部で情報収集を行い、集めた情報をもとに解決の方向性やど

の委員会がどのような活動をするかなど解決方法を検討した。具体的に活動参加予定の委員会では、生活委員会、放送委員会、掲示委員会、学級委員会である。学級委員は各学級で、苦情の内容を説明し、注意を喚起した。また、交通安全

の意識を高めるために、「振り返りシート」を活用して生徒各自の登下校の状況を確認し、改

善すべき点を中心に学級で意見交換を行った。

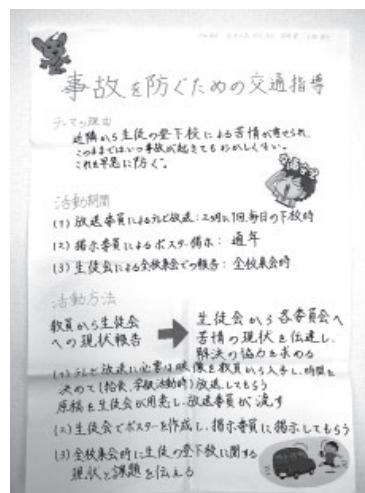


資料1 「歩行マナーの理解と徹底」を指導企画書テーマとして設定した発表事例1

(2) 発表事例2 (資料2参照)

事例2のグループは、「事故を防ぐための交通指導」を指導企画書のテーマに設定した。寄せられた3つの苦情の内容を深刻に受け止め、「このままではいつ事故が起きてもおかしくない。これを早急に防ぐ。」とテーマ設定の理由を記入している。

指導企画書案の内容は、「教員から生徒会本部役員に現状説明→生徒会本部から各種委員会に苦情の内容を報告し、解決方法の検討を指示→各種委員会が解決に向けての活動計画案を作成して実施→生徒会本部は全校生徒集会を開いて、生徒に現状を報告し、事故を防ぐための方法と呼びかける」という流れで、「生徒会活動



資料2 「事故を防ぐための交通指導」を指導企画書のテーマに設定した発表事例2

における学習過程（例）」（図2）を活用して作成したものだった。

グループ発表の意見交換後、評価シート（表8）を用いて指導企画書案の相互評価を発表グループ以外の受講生に行わせた。同じ演習課題

で4つのグループが解決方法を考える方法で展開したので、生徒会活動の知識・技能の内容⁽²⁾を意識した意見交換ができた。評価シートによる受講生の評価内容（自由記述）は以下のとおりである。

発表態度や説明で良かったところ
<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の役割分担のバランスが分かりやすい。 ・パワーポイントの内容をそのまま説明するのではなく、読み原稿をつくり、具体的な事例を入れながら説明していて理解しやすかった。 ・ポイントを図や表にまとめ、分かりやすい作りが出来ていた。 ・中受講生に話すことを考えながら説明していたのは良かった。 ・テーマ設定の理由、活動方法などが具体的で、生徒が活動しやすいと思った。 ・声が大きくて聞き取りやすい。 ・リハーサルをしたので、安心して説明をすることができた。また質問が出てあわてる事なく、グループで考えて回答することができていた。
生徒会が企画書案の内容を円滑に実現できるか
<ul style="list-style-type: none"> ・学級委員会、各種委員会、臨時の全校生徒集会など様々な係や組織を動かしているので、実現できると思う。 ・生徒会本部で現地を調査する、交通安全マップをつくる、放送委員会が昼の放送で呼びかけるなど具体的なところが良い。 ・多くの委員会を動かしているし、視覚的、聴覚的な面から交通安全について注意しているので、実現できると思う。
全体の感想
<ul style="list-style-type: none"> ・講義で生徒会活動の指導は、主な担当者だけでなく、学校のすべての教員が指導に当たるという説明があったので、指導企画書の内容についても全教員が知ることが大切だ。 ・課題に対して生徒の自主性を尊重し、解決策を考えている手順がよくできていた。 ・4つのグループとも、質問や意見に対してメンバーが相談して回答していた点でまとまりを感じた。 ・生徒会だけでは解決できない事項については、先生、地域、保護者、警察などと連携した取組が必要と感じた。 ・グループのメンバー3人が集まる時間は授業以外なく、発表について不安な部分もあったが、最終的には失敗することなく説明できた。

表7 評価シートによる受講生の評価内容（自由記述）

(3) グループ発表の意見交換後に各自でまとめた指導企画書案の例

今回の講義で試みた方法をまとめると、次のようになる。即ち、【受講生各自が、課題について参考書、資料、聞き取り調査などに基づい

て事前レポートを作成する。（一人で考える）】→【事前レポートをたたき台にグループで討議し、グループとしての指導企画書案を作成しプレゼンテーションをする。（グループで考える）】→【他のグループ発表やその後の質疑応

学識番号	氏名
演習③=A 『企画書案』発表について	
() グループに対する評価シート	
1 発表態度や説明で良かったところ (具体的に)	
2 生徒会が企画書案の内容を実際に実現できるかについて	
3 全体的な感想	
4 評価	
(1) 発表態度	()
(2) 資料内容	()
(3) 生徒会がやる気の出る内容であるか	()
(4) 担当教員の意図は伝わっているか。	()
3段階評価とする。 特に良い3 普通2 いまひとつ1	

表8 評価シート

答をもとに各自で改めてレポート「生徒会活動指導計画書案」を作成・提出する。(自分で理解したことを下書きして筆者と意見交換をしてレポートにまとめる)】という方法である。

グループ発表後の質疑応答では、「企画内容が課題を解決するのに適しているか」、「実際に生徒を動かせるか」などにポイントをおいて話し合いが進められていた。筆者が机間巡視をし

ていると、受講生からは「生徒会主催による臨時の全校生徒集会の開き方はどうすればよいのか」、「警察、地域、PTAなどの組織と連携するにはどうすればよいのか」など具体的な質問が寄せられた。

ある受講生のレポートの一例を示しておきたい。(表9)

生徒会活動指導計画書案

1. テーマ

歩行マナー理解と地域安全の確保

2. テーマの理由

最近、近隣の住民の方々から生徒の歩行マナーについての苦情が寄せられた。内容としては、生徒が横に広がって歩くため住民が歩行困難になっていることや、集団下校時には交差点で小受講生が待たされてしまうといった状況である。地域住民の方々との良好な関係を築くためには、生徒会で「生徒に交通マナーを理解させる取組」を行うことが重要だと考えて、このようなテーマを設定した。

3. 活動期間

・全体としては約1ヶ月間とする。

- ・最初の1週間でポスターを作成，生徒へ自覚を促す手紙を作成・配布する。
- 同時期から2週間のパトロールを実施する。その後の1週間で再び苦情が寄せられたら，再度パトロールを実施する。

4. 活動内容

〈本部役員の活動〉

- ・苦情が寄せられた現場を調査して，現状の確認をする。
- ・調査結果を生活委員会に伝えて改善方法を提案させ，実態を認知させる手紙を作成し，各クラスに配布する。
- ・一斉下校時に交差点に立ってパトロールする。
- ※ 毎日のパトロール実施も考えているが，本部役員も日々の活動があり，時間的にも厳しい部分が出てしまうため，日替わりで実施する。曜日を決めて実施するなど，様々な方法を検討していく予定。
- ・各地域への歩行マナー・アンケートの実施（※1 歩行マナー・アンケート用紙例参照）
- ・所轄警察署と協力して，交通安全教室の実施を検討する。
- ※ 予算と時間の問題が発生するので要相談。

〈生活委員会の活動〉

- ・本部役員からの情報をもとに生徒配布用の手紙を作成する。
- ・各クラスの生活委員が学級活動の時間に手紙を配布し，状況を説明し，歩行マナーについて注意を促す。
- ・本部役員がパトロールできない交差点や，問題が起きそうな通学路のパトロールをする。

〈広報委員会の活動〉

- ・交通安全を意識させる校内掲示用ポスターを作成する。
- ・廊下や階段，踊り場など目につく場所にポスターを掲示する。

〈放送委員会の活動〉

- ・給食の時間に今回の問題について放送し，交通安全を意識させる。
- ・曜日を決めて週に一度，歩行マナーの豆知識を放送し，生徒が興味を持つようにする。

※1 歩行マナー・アンケート用紙例

歩行マナー・アンケート	
1. 地域名（市/区/町/村 etc.）	
2. 日常的に歩行マナーが乱れていると感じますか？	
1. はい	2. いいえ
3. 2 の質問で「はい」と答えた方は，その理由や実際の被害などがございましたらお書きください。早めの改善につなげるため，場所の記入をしてもらえると幸いです。	

場所：
理由：
4. パトロールの実施を検討中ですが、この交差点に立ってほしい、この見回りをしてほしいなどといった要望がございましたら、お書きください。
ご協力ありがとうございました。

表9 グループ発表の意見交換後に各自でまとめた指導企画書案の例

7 受講生の意識調査

本授業終了後、学習成果に対する受講生の意識調査を実施した。質問項目は、中学校用の全国学力・学習状況調査の生徒質問紙を参考にして作成した。(表10)

なお、受講生(2年生)の所属は、法学部法律学科2名、経済学部現代ビジネス学科1名、外国語学部英語英文学科5名、同中国語学科1名、人間科学部人間科学学科5名、工学部総合工学プログラム1名、工学部経営工学科1名、合計16名であった。

平成30年度教職課程科目「特別活動論」受講者アンケート	
調査実施日：2018年7月19日(木)、人数：16名	
1 当てはまる	2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない	4 当てはまらない の4件法で回答
<p>1 今まで物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがある。</p> <p>2 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。</p> <p>3 自分にはよいところがあると思う。</p> <p>4 友達の前で自分の考えや意見を発表するのは得意だ。</p> <p>5 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。</p> <p>6 友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができる。</p> <p>7 グループワークやディスカッションで、自分の意見を言うことができる。</p> <p>8 グループワークやディスカッションでは、異なる意見や立場に配慮することができる。</p> <p>9 自宅・アパートでは自分で計画を立てて勉強をしている。</p> <p>10 自宅・アパートで大学の授業の予習をしている。</p> <p>11 自宅・アパートで大学の授業の復習をしている。</p> <p>12 特別活動論の授業では、示された課題を自分たちで考えて取り組んでいた。</p> <p>13 特別活動論の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられた。</p> <p>14 特別活動論の振り返りシートは授業を理解するのに役立った。</p> <p>15 特別活動論の授業のレジュメや資料は役立った。</p> <p>16 授業では、できる限り良い成績をとろうとしている。</p>	

17 授業で分からなかったことは、自分で調べて解決する。

18 大学教育について、あなたは次にあげるA、Bどちらの考えに近いですか。
 A 教員が知識・技能を教える講義形式の授業が多いほうがよい。
 B 受講生が自分で調べて発表する演習形式の授業が多いほうがよい。

19 大学教育について、あなたは次にあげる A、B どちらの考えに近いですか。
 A 受講生が知識・技能を身に付けられるかどうかは、大学教員の責任だ。
 B 受講生が知識・技能を身に付けられるかどうかは、受講生自身の責任だ。

20 大学の授業以外に、平日（月～金）1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。

1 4時間以上	2 3時間～4時間未満
3 2時間～3時間未満	4 1時間～2時間未満
5 30分～1時間未満	6 30分未満
7 全く勉強しない	

21 平日（月～金）1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。（教科書、漫画、雑誌は除きます）

1 2時間以上	2 2時間～1時間未満
3 30分～1時間未満	4 10分～30分未満
5 10分未満	6 全く読書しない

22 大学の図書館や地域の図書館にどれくらい行きますか。

1 週4回程度	2 週1～3回程度
3 月1～3回程度	4 年に数回程度
5 ほとんど行かない	

23 4月から7月までに何冊の本を読みましたか。（覚えている範囲で）（教科書、漫画、雑誌は除きます）

表10 特別活動論受講者アンケート内容

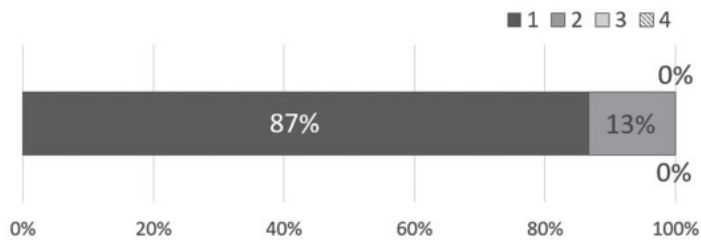
(1) 受講生の意識調査の結果

【「特別活動論」受講者アンケート調査（実施日：2018年6月18日（木）人数：16名）】

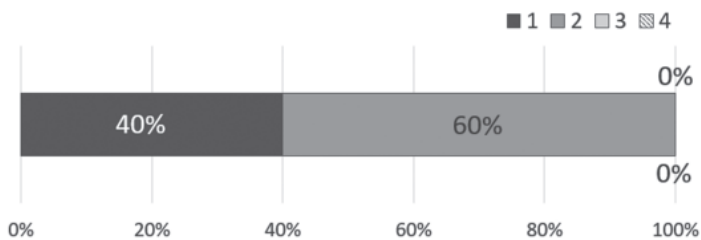
- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 どちらかといえば、当てはまらない | 4 当てはまらない |

※ 質問紙 2～17 の選択肢も同じ。

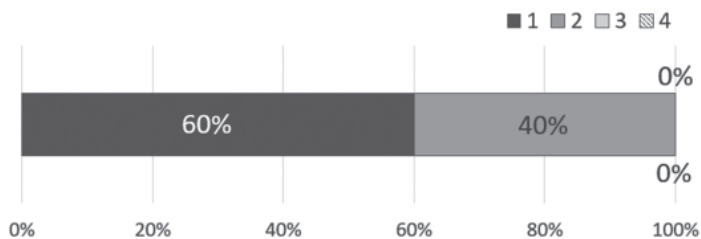
- 1 今まで物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがある。



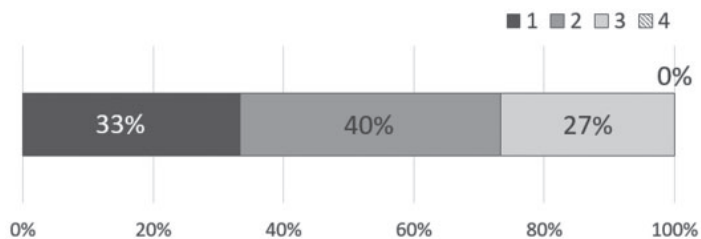
- 2 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。



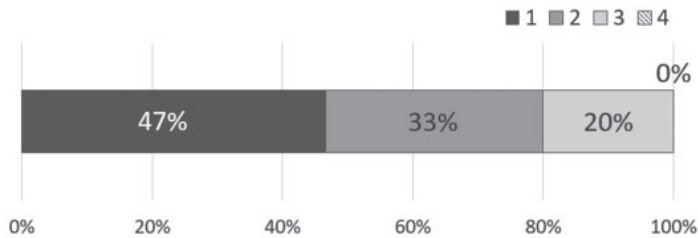
- 3 自分にはよいところがあると思う。



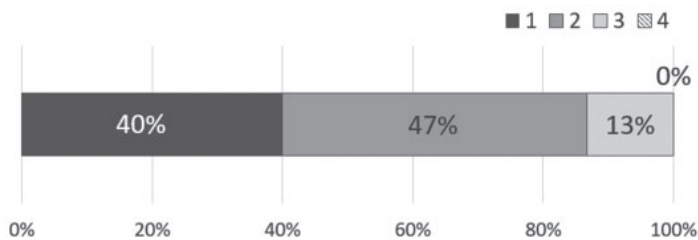
- 4 友達の前で自分の考えや意見を発表するのは得意だ。



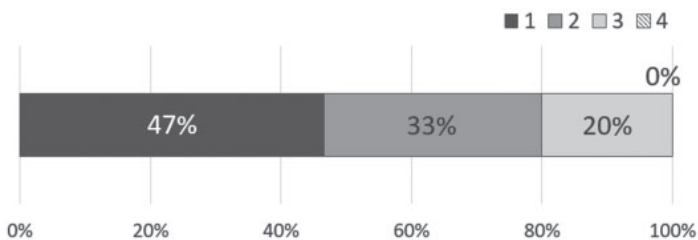
5 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。



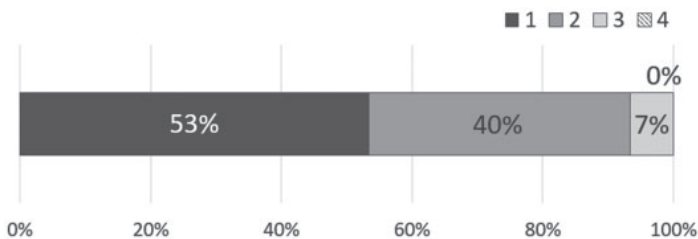
6 友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができる。



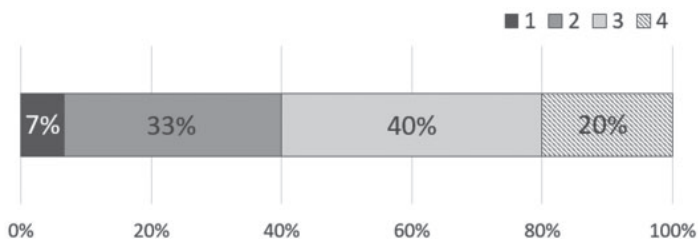
7 グループワークやディスカッションで、自分の意見を言うことができる。



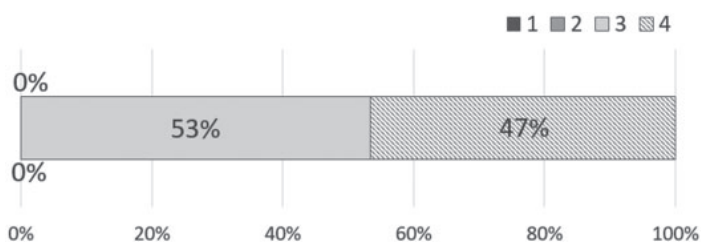
8 グループワークやディスカッションでは、異なる意見や立場に配慮することができる。



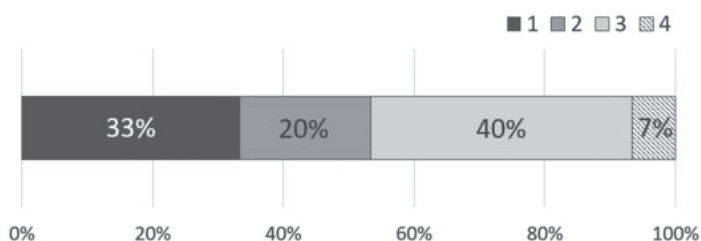
9 自宅・アパートでは自分で計画を立てて勉強をしている。



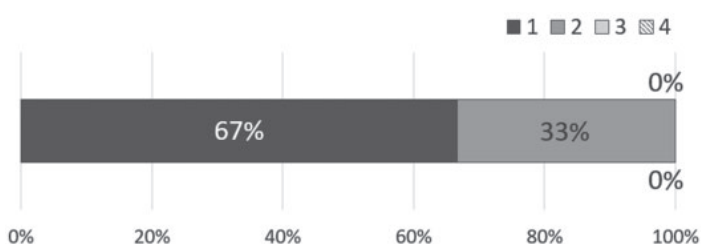
10 自宅・アパートで大学の授業の予習をしている。



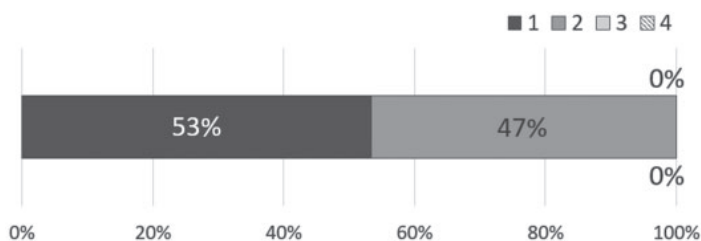
11 自宅・アパートで大学の授業の復習をしている。



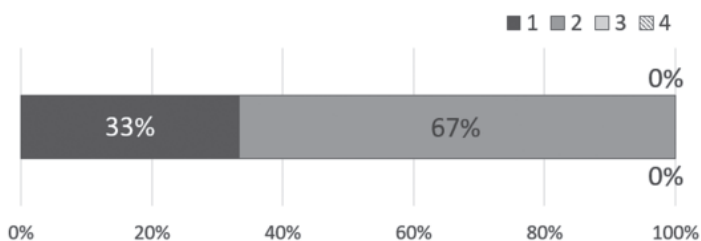
12 特別活動論の授業では、示された課題を自分たちで考えて取り組んでいた。



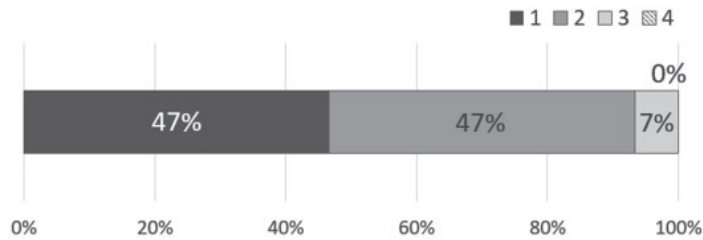
13 特別活動論の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられた。



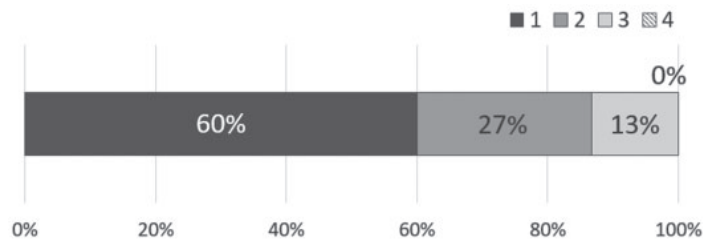
14 特別活動論の振り返りシートは授業を理解するのに役立った。



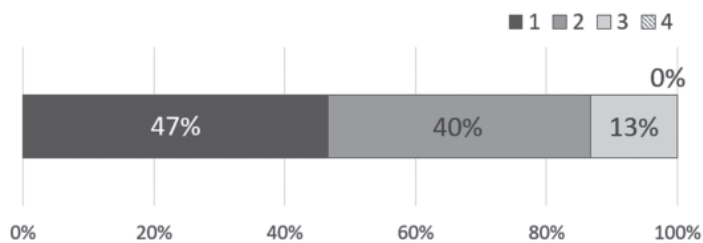
15 特別活動論の授業のレジュメや資料は役立った。



16 授業では、できる限り良い成績をとろうとしている。



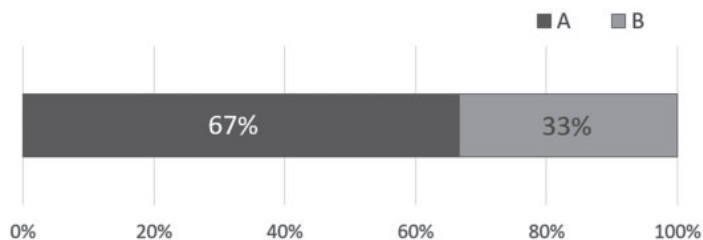
17 授業で分からなかったことは、自分で調べて解決する。



18 大学教育について、あなたは次にあげる A, B どちらの考えに近いですか。

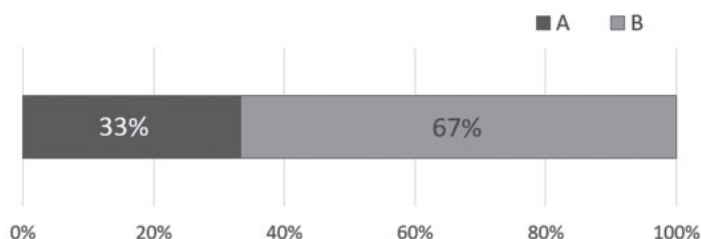
A 教員が知識・技能を教える講義形式の授業が多いほうがよい。

B 受講生が自分で調べて発表する演習形式の授業が多いほうがよい。



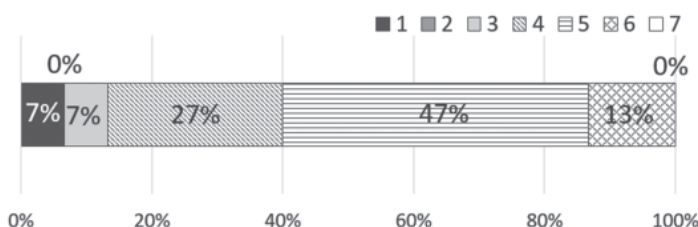
19 大学教育について、あなたは次にあげる A、B どちらの考えに近いですか。

- A 受講生が知識・技能を身に付けられるかどうかは、大学教員の責任だ。
B 受講生が知識・技能を身に付けられるかどうかは、受講生自身の責任だ。



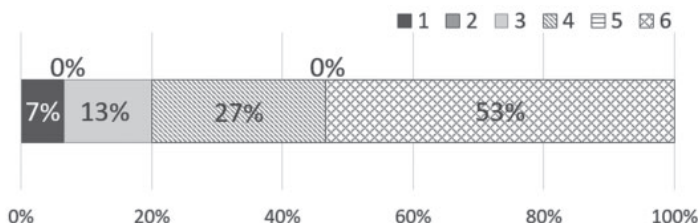
20 大学の授業以外に、平日（月～金）1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 4時間以上 | 2 3時間～4時間未満 |
| 3 2時間～3時間未満 | 4 1時間～2時間未満 |
| 5 30分～1時間未満 | 6 30分未満 |
| 7 全く勉強しない | |



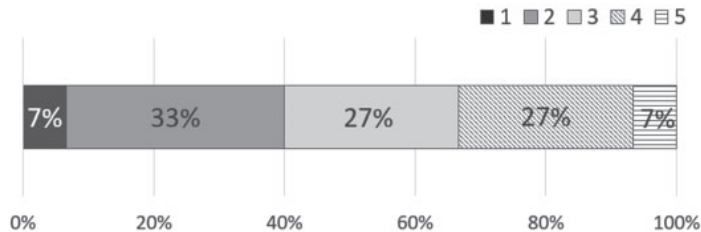
21 平日（月～金）1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。（教科書、漫画、雑誌は除きます）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 2時間以上 | 2 2時間～1時間未満 |
| 3 30分～1時間未満 | 4 10分～30分未満 |
| 5 10分未満 | 6 全く読書しない |

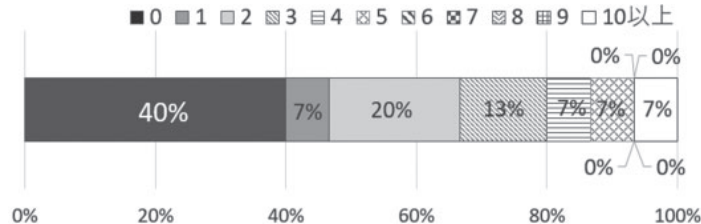


22 大学の図書館や地域の図書館にどれくらい行きますか。

- | | |
|------------|-----------|
| 1 週4回程度 | 2 週1～3回程度 |
| 3 月1～3回程度 | 4 年に数回程度 |
| 5 ほとんど行かない | |



23 4月から7月までに何冊の本を読みましたか。(覚えている範囲で)(教科書, 漫画, 雑誌は除きます)



※ 凡例の数字は本の冊数を表す。

(2)「特別活動論」受講者アンケート結果の分析結果と考察

- ①設問1から設問3は、肯定的な回答(「1当てはまる」と「2どちらかといえば、当てはまる」両方の割合を合計したもの)が90%以上である。このことから自己肯定感が高く、難しい課題に対しても積極的に挑戦していく姿勢がある。
- ②「友達の話最後まで聞くことができる」の肯定的な回答は80%,「友達の考えを受け止めて、自分の考えをもつことができる」の肯定的な回答は87%,「グループワークやディスカッションでは、異なる意見や立場に配慮する」の肯定的な回答は93%など、コミュニケーションに関する質問で高い数値を示している。
- ③「大学の授業以外の平日の学習時間」は、2

時間以上が41%,1時間～2時間未満が47%なので、合計約90%が平日でも授業以外に1時間以上の学習に取り組んでいる。

- ④図書館の利用頻度は1週間に1～4回が40%である。「ほとんど行かない」または年数回程度が60%である。
- ⑤「4月～7月の4ヶ月間に何冊の本を読みましたか」の設問では、0～4冊が80%,0冊だけでも40%となり、全体的な読書量が圧倒的に少ない。
- ⑥「あなたは自宅・アパートで、大学の授業の予習をしていますか」の設問では、「あまりしていない」53%,「全くしていない」47%となり、予習についてはほとんど全員の受講生が実施していない状況である。
- ⑦「あなたは自宅・アパートで、大学の授業の復習をしていますか」の設問では、「してい

	1	2	3	4
設問1	13	2	0	0
設問2	6	9	0	0
設問3	9	6	0	0
設問4	5	6	4	0
設問5	7	5	3	0
設問6	6	7	2	0
設問7	7	5	3	0
設問8	8	6	1	0
設問9	1	5	6	3
設問10	0	0	8	7
設問11	5	3	6	1
設問12	10	5	0	0
設問13	8	7	0	0
設問14	5	10	0	0
設問15	7	7	1	0
設問16	9	4	2	0
設問17	7	6	2	0

	1	2
設問18	10	5
設問19	5	10

	1	2	3	4	5	6	7
設問20	1	0	1	4	7	2	0

	1	2	3	4	5	6
設問21	1	0	2	4	0	8

	1	2	3	4	5
設問22	1	5	4	4	1

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10以上
設問23	6	1	3	2	1	1	0	0	0	0	1

表11 受講生の意識調査の結果 (N=16)

る」「どちらかといえばしている」を合わせて53%、「あまりしていない」「全くしていない」が合わせて47%である。

- ⑧「特別活動論の授業で示された課題を自分たちで考えて取り組んでいたか」、「授業では自分の考えを発表する機会が与えられたか」の設問では肯定的な回答がいずれも100%となり、受講生が集中して授業を受けていたと評価できる。
- ⑨毎回の授業のまとめで活用した「振り返りシート」や授業で配付した資料については、ほとんどの受講生が役立ったと評価している。

8 成果と課題

(1) 成果

本授業の成果を箇条書きで以下にまとめておきたい。

- ①「生徒会活動指導企画書案」作成に当たっては、各受講生とも図2「生徒会活動における学習過程（例）」をモデルにしてまとめることができた。また、生徒会組織が具体的に活動できる仕組みになっていた。
- ②3名の受講生が事前レポートを作成するために、出身中学校に聞き取り調査に行った。
- ③生徒会活動については、多くの受講生が図書館やインターネット等で調べて関連資料を収集していた。特にインターネットを活用して調べた受講生が多かった。
- ④4グループとも、顧問教師が生徒会本部役員を指導するという視点で発表資料をまとめることができた。
- ⑤グループ編成は友人同士で行ったが、既に人間関係ができていたので、グループ討議では自由な意見交換ができた。
- ⑥アクティブ・ラーニングの技法を使った授業形式は、最終的に作成されたレポートの完成度から判断すると、授業目標を達成するうえで効果的であった。

⑦受け身になりがちな講義形式の授業では学習意欲がなかった受講生も、演習形式のアクティブ・ラーニングの授業には積極的に取り組んでいた。とくに自分の調べたことやまとめたことを人前で発表した学習内容の定着状況に効果が出た。

⑧授業時間が100分となったので、時間的に余裕をもってグループ活動が出来た。

(2) 残された課題

本授業については様々な創意工夫を凝らしながら展開してきた積りであるが、いくつかの課題も積み残されている。以下に箇条書きで整理しておきたい。

- ①家庭で取り組むよう指示されていた課題を忘れた受講生が4名（25%）いた。課題を忘れた受講生からは、家庭で取り組むよう指示された課題を授業内でやらせて欲しいという要望が出た。しかし、大学の授業は事前の予習を前提としたものなので、今後も家庭における事前レポート作成は継続させる予定である。
- ②配付資料を失くしたり、自宅に忘れてくる受講生が多く（毎回3～5人）、授業の展開に支障を来した。これは受講生の自覚の欠如に基づくものなので、今後は受講生の自覚と意識を更に高めるよう工夫していきたい。
- ③あるグループでは2人だけが中心的に活動し、残りの2人は傍観者になっていた。グループのメンバー全員が協働的に課題に取り組めるよう、意識付けを効果的に行う必要があると痛感した。
- ④配付資料や作成レポートなどが散逸し、整理できない受講生が多かった。事前に文書類を各自のファイルに綴じさせる指導が必要だった。本来ならば、ファイリングは小中高校の段階で身に付けておくべき学習スキルのはずであるが、大学段階でも基本的な学習スキルを徹底する必要性を痛感した。
- ⑤上記④を踏まえて言えば、授業内容の理解を

深めるために、振り返りシートや配付資料をファイルに入れて保存するポートフォリオ評価の技法を導入する必要があった。

- ⑥インターネットで調べる受講生が多いが、検索結果の知見・データ類をどこまで理解できたのかは不明である。参考文献や資料類を正確に読み込ませ、しっかり吟味させるための方法を考える必要がある。例えば参考文献の要点をまとめたレジュメを課題として提出させるなどの方法も有効かもしれない。

アンケート結果をみると、授業の予習をしている者は0名、していない者は16名、授業の復習をしている者は8名、していない者は8名となっている。毎回、授業時間内に記入できなかった振り返りシートの記入を家庭での課題にしていることもあり、家庭学習の内容は復習が

中心になっている。また、授業以外の平日（月～金）の学習時間は30分～1時間が2名、1時間～2時間が8名、2時間～3時間が4名、3時間～4時間が1名、4時間以上が1名で、16名中14名が毎日、1時間以上の学習に取り組んでいることになる。授業目標を達成するためには、本来ならば、予習をして授業に臨む主体的な学習習慣を育成することが必要である。そのためには今後、①テキストや参考文献などを使って予習内容を明確に指示する、②効果的な学びの方法を分かりやすく助言する、③受講生の抱えている様々な課題や懸案を迅速に解決するため、教員と受講生の双方向的なコミュニケーション体制を整えるなどの環境整備が必要である。

以下は、主体的な学習習慣を育成するための手だてを筆者がまとめたものである。

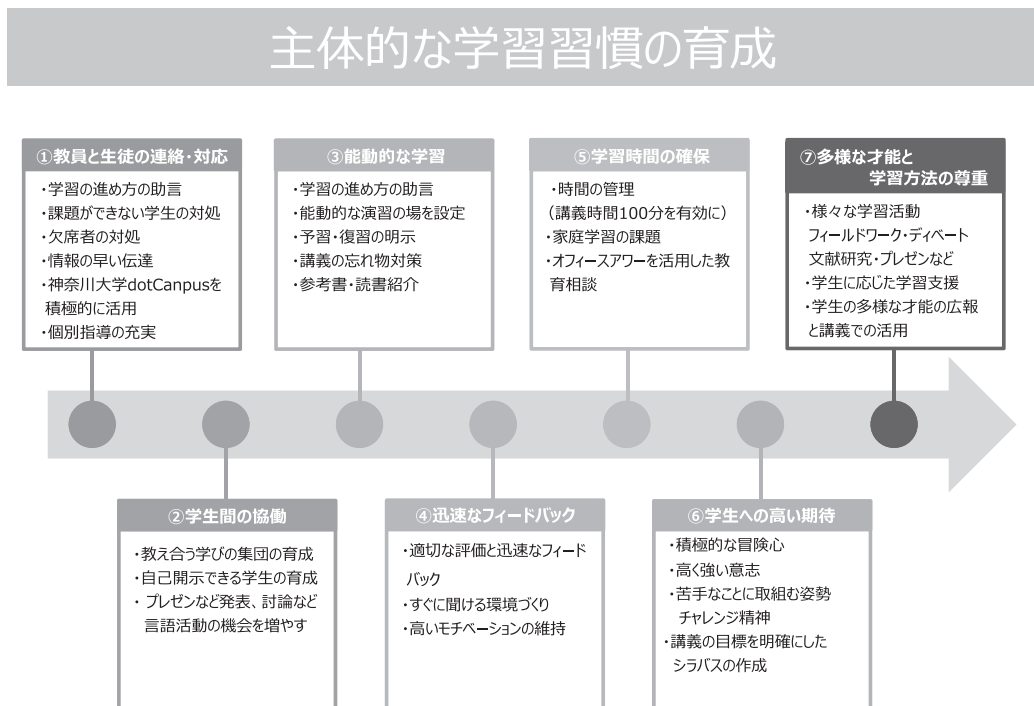


図3 主体的な学習習慣を育成するための手だて

【注】

- (1) 高橋正尚「学級経営（3年）」『中学教育』4月号，小学館，1994年，58～59pp，63p
 高橋正尚「学級経営（3年）」『中学教育』5月号，小学館，1994年，60～62pp
 高橋正尚「学級経営（3年）」『中学教育』6月号，小学館，1994年，120～121pp，123p
 高橋正尚「学級経営（3年）」『中学教育』7月号，小学館，1994年，80～82pp
 高橋正尚「学級経営（3年）」『中学教育』9月号，小学館，1994年，94～96pp
 高橋正尚「学級経営（3年）」『中学教育』10月号，小学館，1994年，126～127pp，129p
 高橋正尚「学級経営（3年）」『中学教育』11月号，小学館，1994年，94～95pp，98p
 高橋正尚「学級経営（3年）」『中学教育』12月号，小学館，1994年，86～87pp，90p
 高橋正尚「学級経営（3年）」『中学教育』1月号，小学館，1995年，120～121pp，126～127pp
 高橋正尚「学級経営（3年）」『中学教育』2月号，小学館，1995年，82～83pp，88～89pp
 高橋正尚「学級経営（3年）」『中学教育』2月号，小学館，1995年，94～95pp，97pp
 後掲頁から〔資料〕として引用転載
- (2) 横浜市教育委員会『横浜版 学習指導要領 指導資料 特別活動編』ぎょうせい，2010年
- (3) 澤田敏志・中村眞一・齋藤 元・高橋正尚『為すことによって学ぶ～神奈川大学教職課程「特別活動論」テキスト～』神奈川大学教職課程，2016年
- (4) 文部科学省『中学校学習指導要領（平成20年3月31日告示）解説 特別活動編』ぎょうせい，2008年
- (5) 文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年3月31日告示）解説 特別活動編』東山書房，2017年

(6) 本授業の参考文献としては以下の3冊を紹介した。

- ① 国立教育政策研究所教育課程研究センター編『学級・学校文化を創る 特別活動 中学校編』東京書籍，2016年。
- ② 渡部邦雄他編著『新学習指導要領準拠 特別活動 改訂版 指導法』日本文教出版，2018年
- ③ 文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年3月31日告示）解説 特別活動編』東山書房，2017年

[資料]

3年 4月の経営目標

経営の重点事項		重点事項の実践方法	
		事前の準備	方 法
上旬	○三年生になって	<ul style="list-style-type: none"> ・「三年生になって」という作文を書いておく。 ・学年目標をプリントにしておく。班づくり，席替えの案，学級委員，係委員の担任としての案。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二，三人の作文を読み，どんな考えを持って，学級づくりをするか討議する。そのとき，学級目標を受けて，学級目標を考える。最初の出会いを大切にするために，席決め，班編成は，生徒の意見も尊重するが，担任としての抱負をじっくり聞かせ，よりよい学級づくりのため，担任と生徒とのコミュニケーションを図るよう努める。
中旬	○輝く三年生の顔！ ー最上級生としての心がまえ ○一年間を見通した学習の取り組み ○入学式，対面	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式に向けての諸準備を，三年生が中心になって行う。環境整備につとめる。 ・対面式で読むメッセージなどを用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・喜びと不安に満ちて入学してくる一年生にとって，三年生の行動がいちばん注目され，憧れでもある。心から温かく迎えるため，教室の黒板に祝福の言葉や，絵をかき，手づくりの花を飾る。入学を待ちこがれた気持ちや，中学校生活の様子を書いたメッセージを書いて，三年生から一年生に渡す（クラスごとに書き，三年の代表から一年の代表に渡してもよい）。学級では，やさしい言葉を一年生にかけたり，親切にリードしていく姿勢を持つよう互いに話し合う。
下旬	○詩歌でつづる修学旅行ー班別自主行動で ○将来の夢 ○教室環境ー温かい雰囲気 ○学級通信の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・「よき環境はよき人をつくる」という標語を，横二〇センチ，縦九〇センチの用紙に毛筆で書き，教室の黒板の横にはっておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境によって人は作られる」といっても過言ではない。落ち着いて温かな雰囲気をつくるために，標語で意識を高め，全員で工夫し，教室を整える。

3年

■4月の学級経営の資料とアイディア

将来の夢—新学年を迎えるにあたって

自分の将来の夢を描く中で、その夢を実現するためにこの一年間、どんな目標を持って努力すればよいかを考える。

△方法▽

- (1) 小学校時代の夢を自由に発表する。
- (2) 中学三年生の現在、どんな夢を持っているかを具体的に考え発表する。
- (3) 「10年後にどんな職業についているだろうか。どんな生き方をしているだろうか」を想像して発表する。
- (4) 資料『私の夢・私の目標』を配布して各項目を記入する。
- (5) 資料を家庭に持ち帰り、保護者の方に感想を記入してもらう。

△留意点▽

- 一、二年生の生活を振り返って、努力目標を決定する。
- 資料が完成した生徒と個人面談を実施し、努力目標を具体的なものにするために適切なアドバイスをする。
- 進路指導は、生徒一人ひとりが将来の生き方を考え、自らの持ち味、興味・関心などを生かした進路を模索し、実現できる教育活動であること、をふまえて指導する。

【資料】

○資料はB4サイズの画用紙に印刷をする。

私の夢・私の目標

氏名(山上 千智)

1. 小学校時代の夢

童話作家になりたいかった。

2. 現在の夢

小学校の先生になりたい。

理由 子供が好きなのでいっしょに勉強したい。

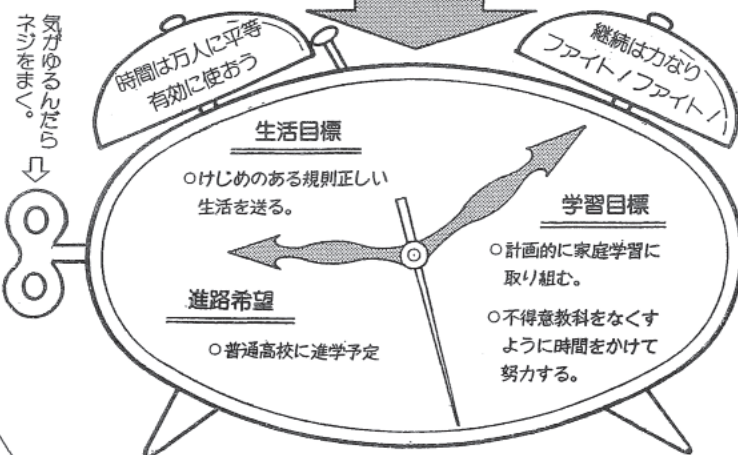
3. 10年後の私の姿を想像して書いてみよう。

どんな職業についているか?

小学校の先生になって子供とドッジボールをしたり、授業を教えたりしている。

どんな生活をしているか?

1日1日を充実して過ごしている。どこかの小学校につとめて、毎日元気にがんばっていると思う。



家庭より
(感想)

三年生になってやる気が出てきたようです。長々と机に向かっていますが、もう少し集中して(学習と遊びのけじめをつけて)取り組んでくれたらと思います。よい目標を本人が決めたので、家庭でも守れるように応援していきたいと思います。

(高橋 正尚)

きょうは
どんな日?

4月19日

伊能忠敬が自費による蝦夷地測量を許され江戸を出発。この時56歳(1800)/中教審が受験競争緩和など高校教育改革を答申(1891)

3年 5月の経営目標

経営の重点事項		重点事項の実践方法	
		事前の準備	方 法
上旬	○みんなで決める学級の約束	<ul style="list-style-type: none"> ・三年生になって一か月たった時期に、自分の生活状態を見つめるために、「私の一日の生活」という表を作らせる。円グラフまたは、家庭、学校、その他のエリアで区分して、様子を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作ったグラフを提出させ、教師のほうで点検し、よい例と改善したほうがよい例を提示し、それぞれ評価をする。その際、家庭における自分のあり方、学校または、地域、その他のあり方について考えさせる。個々の改善策について意見を述べ合う。
	○日常生活で考えること		
中旬	○学校の授業と塾の学習について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の授業の様子について、自分の反省を記入させ、提出させる。塾に通っている生徒は、その旨も用紙に記入させる。 ・中間テストの日程をもとに計画表を作る。中間テストに向けての努力目標について、画用紙に書かせ、家庭で学習する場所にはる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その反省の中で、塾に通っている生徒で、塾に行っていることで安心し、学校の授業にあまり熱心でないようなことを書いているものを例示し、「なぜ、学校の授業が大切か」学級討論を開き討議させる。そこで出された意欲をもとに、授業にのぞむ意欲を喚起するよう努める。 ・三年になってはじめてのテストである。計画的に学習するよう努力する姿勢を養う。そのためにそれぞれの努力目標を学級で発表し、その目標を家庭でも、学校でも念頭におくようつとめる。
	○中間テストに向けて		
下旬	○聞いてよ、とっておきの話を！—修学旅行で得たもの	<ul style="list-style-type: none"> ・学校から生徒の家までの地図を紙にかかせる。これだけは保護者に伝えてほしいこと、ほしくないことをその紙に書かせておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問の目的について伝える。保護者に生徒個々のよさを伝えることを強調し、生徒個々に安心させ、それをもとによりコミュニケーションを図る。
	○生涯学習を考えよう—自分の趣味・特技を生かして		
下旬	○家庭訪問		
	○楽しいランチタイムを一観葉植物のある教室で		
下旬	○学級通信の発行		

3年

■5月の学級経営の資料とアイディア

みんなで決める学級の約束 学年目標をふまえて

学級目標を達成するために、いくつかの約束を決め、学級目標に向かって努力しようという意欲を高めていきたい。

△方法▽

(1) 約束の原案作成を担当する約束制定委員会を設ける。(資料1)

(2) 約束制定委員会が帰りの会で、「みんなで決めるよう学級の約束」を配布し、全員に記入してもらう。(資料2)

(3) (2)をもとに約束制定委員会が原案を作成する。

(4) 学級会を開き、原案を審議し約束を決定する。

(5) 約束が決定したら学級に掲示する。(資料3)

△留意点▽

○約束の文は、短く覚えやすい内容でインパクトの強い表現にする。

○学期に一度、学級会場で約束が守られているかどうかを討議する。

[資料1] 約束委員会の選出方法・仕事内容

約束制定委員会の内容

1. 選出方法

- 学級より選挙で5名選出する。
- 立合演説会を実施する。立候補者は立候補の理由や抱負を中心に自分の考えをのべる。

2. 仕事の手順

- ①資料2を配布し、全員に記入してもらう。
- ②全員で記入してもらった約束を全部模造紙に書いて掲示する。(ただし共通のものはまとめる。)
- ③約束の内容を審議し原案を作成し「委員会だより」で全員に配布する。(7~8つにしぼる。)
- ④学級会を開き原案を審議する。原案は約束制定委員が提案し学級会で5つにしぼる。
- ⑤約束が決定したら学級に掲示する。約束をイラストであらわし掲示する。



[資料2] 「みんなで決めよう学級の約束」

みんなで決めよう学級の約束

約束制定委員会

(学級目標)

仲間を大切にし、けじめのあるクラス

(学級目標を達成するために考えた約束)

友達の話当真に聞こう!!

考えた理由

(友達をよく理解するためには「仲よくなるためには」、話を真実に聞くことが大切だと思ったからです。)

(高橋 正尚)

[資料3] 決定した約束をイラストでかいて掲示する。(例)



※画用紙に絵の具を使ってイラストをていねいに仕上げる。動きのある絵がおもしろい。

3年 6月の経営目標

経営の重点事項		重点事項の実践方法	
		事前の準備	方 法
上旬	○ストレス解消法	<ul style="list-style-type: none"> ・三年生になってから二か月間の生活の中で、楽しかったこと、がんばったこと、および苦しかったこと悲しかったことなど、紙に項目ごとに記入させる。特に苦しかったときや悲しかったとき、どのように克服したか意見をまとめておく。 他に、一般的なストレス解消法の印刷。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦しかったこと、悲しかったことを、自主的に発表させる。あわせてそのとき、どのように解決したかを述べさせる。プリントの一般的なストレス解消法を説明する。そのとき、動作で表現できるものは見本を示し、レクリエーション的に、実践すると楽しい雰囲気をつくることができる（ストレッチ体操など）。
中旬	○部活動と学習 ○私の健康法 ○見直そう！ 一私の家庭学習法	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動と学習の両立で努力している点を作文にまとめておく。両立で、苦しいこと悩んでいることなど、アンケートをとっておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最上級生として部活動の中心となっている生徒も多く、最後の大会などを控えて、学習と両立させるのに苦しんでいる。苦しんでいるのは自分だけでないことをわからせる（作文を読む）。両立をさせるためにはどんな工夫があるか、友達から学んだり、個々に考えさせ、両立できるよう努力させる。
下旬	○班活動の見直し ○球技大会を成功させるために ○人気職業ベスト5から ○進路説明会に向けて ○学級通信の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・球技大会に向けて、練習日程表を作成する。選手と応援係が一体となってクラスの雰囲気が盛り上がるような標語を作り、応援旗を作る。 (例) 学級の目標ー全員で勝利に向けて前進ー (例) 人ー標語ー学級のために努力はおしまずー 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人批判や班への批判だけでなく、どのようにしたら、学校目標が具現化できるか、前向きに考えて努力する姿勢を育てる。また、集団の中で個々がどのような努力をすればよいか、各班からの手紙を読み、その努力目標を見つける。 ・練習日程をもとにどのように努力するか、勝利へ向けて努力目標を決める。大会に参加するものは学級全員であることを意識づけ、選手も応援者も一体となり、学級のまとまりを推進する。応援旗を作って常に学級に飾る、標語を各人で作り順番に朝の学活と帰りの学活で読み、雰囲気をつくる。

3年

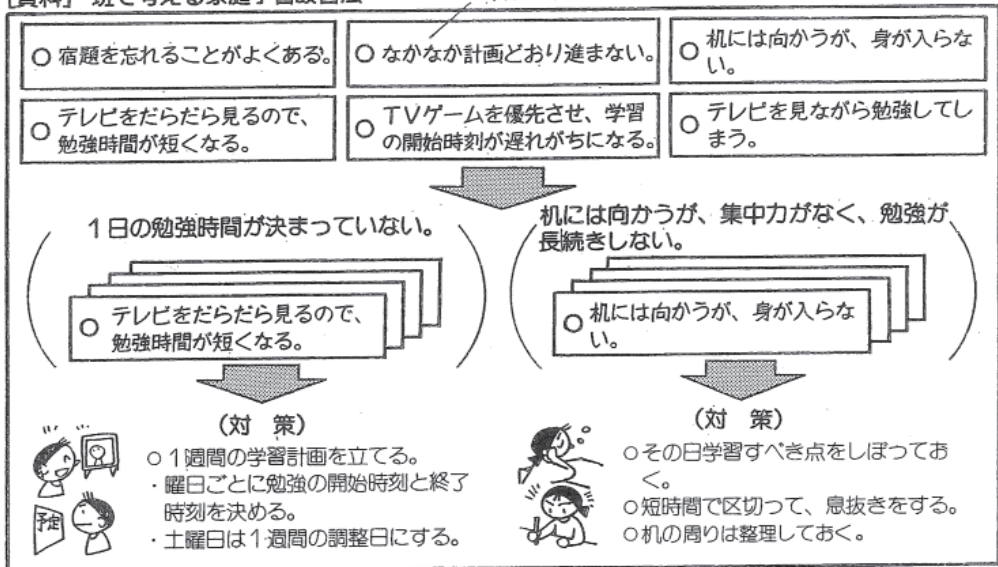
■6月の学級経営の資料とアイデア

見直そう / 私の学庭学習 班員で協力して 家庭学習を改善しよう

- 四月に学習計画を作成し三か月が経過した。また中間テストも終了し、教科ごとの課題もはつきりしてくる時期である。そこで、家庭学習の見直しをすることで、今後の学習活動をより充実したものにする。
- △方法▽（資料）
- (1) カードに家庭学習の問題点や反省点を記入する。
 - (2) 班をつくり、(1)で作ったカードを並べ、同じような内容のカードを集めグループをつくる。
 - (3) (2)で作ったカードのグループごとに小見出しをつける。
 - (4) 班員で話し合い、小見出しごとに対策を考える。
- 《留意点》
- カードは具体的に記入させ、数多く作るように指導する。
 - グループ分けしたカードの内容をよく考えて、小見出しをつけるように助言する。
 - 班員で協力して家庭学習のよい方法を考える。

【資料】 班で考える家庭学習改善法

※市販の単語カードを利用する。



（高橋 正尚）

みんな同じ悩みを持っているんだね。ほつとしたよ!!

みんなで考えると心強いね。

机の周りを能率よく整理することも大切だね。



家庭学習の状況を定期的にチェックする必要があるね!!

生活のリズムをくずしていないかも改善のポイントだね。

きょうは
どんな日?

6月27日

江戸の銭湯で湯女を制限するお触れが(1652)/血税の字がもとで香川県で徴兵令反対の一揆起きる(1873)/上田秋成没(1809)

3年 7月の経営目標

経営の重点事項		重点事項の実践方法	
		事前の準備	方 法
上旬	○一学期を振り返って	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に決めた学級目標を書き、その下に自分の目標を書けるように、コーナーを設けたプリントを作っておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記のプリントを配布し、学級目標を確認し、今学期の自分の目標を記入する。目標が守れたかどうか、その評価を目標の下に記入させる。いちばんよく守れた点、また、これから努力しなくてはならない点を発表し合い、来学期への心がまえを養う。また、この資料を使って個人面談に役立たせたい。
中旬	○Xさんからのメッセージ、友達から学ぶ ○家庭学習の工夫—苦手な教科の克服法 ○ボランティア活動 ○進路に向けての訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・一学期を振り返って、家庭学習の様子を次の項目で、学級活動(特別活動)ノートにまとめておく。学習時間、苦手な教科名、苦手な理由、その対策法、家庭学習の問題点など、進路に向けて、苦手な教科学習の克服が大切であることの意識付けをしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習を実践するにあたり、どんな工夫をしているか—例えば、夕食が終わったら、見たいテレビは録画して後で見るようにして、まず最低二時間は学習する。苦手な教科を克服するために、苦手な教科を先にやり、毎日こつこつ努力したなど、ノートに書いたものを発表させる。友達の意見を聞いて、自分に合った学習法を見出す。
下旬	○一学期の班活動で得たもの ○夏休みだからこそでできる地域での学習 ○大掃除の工夫 ○親子、教師面談 ○学級通信発行	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい人間関係がよりよい仕事に役立つという認識を持たせるために、日ごろから、友達のよいところを見習うとともに、自分のよさ(アイデンティティ)を表現する訓練をさせておく。 ・清掃マニュアルを保健委員(環境美化委員)が作り、印刷しておく。 ・成績、個人の生活記録、進路に関する調査。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一学期で班活動を通じて得たものは何か、班で話し合い、それを学級全体に発表させる。結果として友達のよさを述べ合い、よい人間関係を作ることがどんなに大切かを認識させるようにしたい。そこにいじめなどにかかわる意見が出た場合、学級として“いじめ”に対して、考えるチャンスとしたい。 ・マニュアルにそって学習をし、それぞれの分担を決める。能率よく清掃をするために、分担ごとに工夫を話し合い、お互いに協力し合って、その目標に向かって努力させる。 ・常に親子に希望を与え、意欲を育てるようにする。

3年

7月の学級経営の資料とアイディア

友達から学ぶもの—“Xさんからのメッセージ”から自分を見つめよう


- 一学期の生活面を振り返るために、友達が自分をどのように評価しているかのメッセージを交換し、自分のよいところや課題などを客観的に考えさせ、今後の生活に役立てる手だてとする。
- △方法▽
- (1) 六人の班をつくり、二種類のカードを一人一枚ずつ配布する。
 - (2) 一人で他の五人の班員について『学校生活の中で気付いた〇〇君（さん）のよいところ、よい行動』と『〇〇君（さん）のここを直せばもっと成長するよ』の二枚のカードに記入する。（資料1）
 - (3) カードを班員から受け取り、自分について個人票にまとめる。（資料2）
 - (4) 資料2を基に、家庭で話し合う。
 - (5) 資料2を担任に提出する。
- △留意点▽
- 担任は資料に基づいて面談を実施し、家庭での話し合いの結果や生活面の課題を確認する。

【資料1】 メッセージカードの例

- ・色画用紙でつくり2種類のカードを色分けする。
- ・カードの大きさは8cm×12cmが適当である。

メッセージカード（表）


天崎あかねさんへ



（大江佳弘より）

※表に相手の名前と自分の名前を書く。なるべくかわいい模様のカットをつけてあげるとよい。

天崎あかねさんへ



（大江佳弘より）

※相手の似顔絵を工夫してかく。

（裏）

〈学校生活の中で気付いた〇〇君・さんのよいところ、よい行動!〉

○そうじや係活動などに黙々とがんばっている。

○学級に花をときどき持ってきてくれる。

〈〇〇君・さんのここを直せばもっと成長するよ!〉

○言葉づかいが悪いです。もう少し相手の気持ちを考えて話しましょう。

※相手を傷つけるような言葉でなく、励ましの言葉になるように配慮する。

【資料2】 一学期の生活面を振り返ろう /

一学期の生活面を振り返ろう！			3年1組（1）番（大坪朋弘）
〈友達が見つけたよいところ・よい行動〉	○友達に対して親切で相談相手になってくれる。	○身の回りをいつもよく整理している。	○約束を守る。
	○友達に対して親切で相談相手になってくれる。	○身の回りをいつもよく整理している。	○約束を守る。
〈自分の感想・意見〉	○よいところが意外とあるな!!二学期はもっと増やしたい。		
	○よいところが意外とあるな!!二学期はもっと増やしたい。		
〈友達が見つけた、ここを直せばもっと成長するよ〉	○時間にルーズです。チャイム着席が守られていません。	○教科係の仕事を忘れずにやってほしい。	
	○時間にルーズです。チャイム着席が守られていません。	○教科係の仕事を忘れずにやってほしい。	
〈自分の感想・意見〉	○チャイム着席については自分では気を付けているつもりだが、ときどき失敗をしてみよう。	○教科係の仕事は教科担任の先生とよく連絡をとり正確にみんなに伝えたい。	
	○チャイム着席については自分では気を付けているつもりだが、ときどき失敗をしてみよう。	○教科係の仕事は教科担任の先生とよく連絡をとり正確にみんなに伝えたい。	
			<p>〈家庭で話し合った結果を記入する。〉</p> <p>身の回りの整理整頓は家庭でもよく心がけているようです。時間の使い方は上手ではありません。夏休みは一日の計画をしっかりと立て、リズムのある生活態度を望みます。</p> <p>※保護者の方がご記入ください。</p>

3年 9月の経営目標

経営の重点事項		重点事項の実践方法	
		事前の準備	方 法
上旬	○親と子で考えよう 一家庭でのコミュニケーションのあり方		
	○福祉について考える	・敬老の日を祝い、老人ホームを訪問するときに持参するものを用意する（作文、手紙、手づくりの品、学校農園でとれたサツマイモ、ナス、など。また、ニワトリを飼っている学校では鶏卵）。	・敬老の日を機会に、「本当の福祉って何」というテーマで学級討論会を実施し、近くの老人ホームを訪ね、自分たちの愛情のこもった手づくりの品を届ける。グループに分かれて、数か所の老人施設を訪ねる。また、自分の祖父母にも、手紙や電話でやさしい思いやりの気持ちを伝える。
	○充実した二学期にするために	・三年生にとって、二学期をどのように過ごすかによって未来への生活を占うことになる。その意識づけのために、二学期をどのように過ごすか作文を書く。学習、保健（健康）、心の持ち方など、ポイントをおさえる。	・作文を参考に、担任と教育相談を行う。あせらず、九月上旬から中旬にかけ、担任とコミュニケーションを十分とるよう心がける。それが今後の進路指導をスムーズにすすめることに役立つ。
	○苦手な教科にチャレンジ		
中旬	○班を作る目的と班の決め方の工夫	・「班はなぜ作るのだろうか」というテーマで、討議材料を、個々に考えさせておく。また、旧の班でよかったこと、反省することをまとめ、学級活動ノートにまとめておく。	・三年生のこの時期になると、体育祭などの行事の成功のため、班に協力する人と、自分だけの世界にひたって、班活動がわずらわしくなる生徒に分かれてくる。学級活動を活性化するために、班活動が大切であること、協力することの大切さに気付かせる。また、自分の能力を生かすよう努めさせる。
	○体育祭に向けて	・三年生がリーダーとして体育祭を成功させるために、参加種目への参加姿勢を養う。また、係活動に積極的に参加し、最上級生としてのリーダー性を養う努力をさせる。	・練習風景のビデオを学級活動の時間に見せ、感想を述べさせる。「一人の力はみんなのために、みんなは一人のために」の精神が大切であることを語りかけ、成功への意欲を喚起させるよう努める。
下旬	○進路資料の情報提供とその掲示の工夫		
	○地域行事への参加	・地域の秋祭りなど、行事の情報収集	・地域行事へ参加する姿勢を育てるための情報交換。
	○ボランティア関心度		
	○学級通信発行		

3年

■9月の学級経営の資料とアイディア

親と子で考えよう—家庭でのコミュニケーションのあり方

- 進路希望先を具体的に決定する時期が近づいてきたが、そのためには親と子のコミュニケーションが重要な役割を果たすことになる。そこでよりよいコミュニケーションの方法を考える。
- △方法▽
- (1) 保護者会の折に「親と子のコミュニケーションを深める方法」というテーマで話し合いを持ち、その様子を録音する。
 - (2) 教師が(1)のテープと話し合いをまとめたプリントを用意する。(資料1)
 - (3) 学級会でテープを聞く。自分たちで深められるコミュニケーションのあり方を話し合う。(資料2)
 - (4) (3)の結論を参考に、自分の親に「これからの親と子のコミュニケーション」について意見をまとめる。(資料3)
- △留意点▽
- 家庭でのコミュニケーションのルールづくりを念頭において学級会で指導をする。

[資料1] 学級会の資料

1. 保護者の話し合いを編集したテープ

①保護者の話し合いに入る前に、話し合いの目的

進路の話し合いのために円滑な親子関係をつくる
そのために

親と子のコミュニケーションを深めるよい方法

をみんなで考えるという主旨を説明しておく。

②話し合いの内容を10～15分に編集する。

※学級会でテープを聞くことによって、話し合いの雰囲気を感じとらせる。

2. 話し合いの内容をまとめたプリント(例)

—コミュニケーションを深めるために— (親から子供へのメッセージ)

- ①学校からの報告や手紙は必ず伝える。
- ②自分の考えやその理由をはっきりと言ってほしい。
- ③親の意見にも素直に耳をかたむけてほしい。
- ④お互いに思っていることを正直に話し合いたい。
- ⑤落ち着いてじっくりと話し合いをしたい。

[資料3] これからの親と子のコミュニケーション 記入用紙(例)

これからの親と子のコミュニケーション

(5)組(6)番(小野 文)

1. 私は家庭でのコミュニケーションを充実させるために次のことを心がけたい。

- (テーマを決めて話し合う。)
- (時間を設定して計画的に話し合いをすすめる。)
- (お互いに本音で話し合いたい。)

2. 保護者へのメッセージ

- ①感情的にならないで話し合いをすすめてほしい。
- ②兄弟を比較しないでほしい。

3. 家庭より 進路を決定するにあたって、親子で話し合う機会が多くなるといいます。聞き上手になれるよう親としても努力したいと考えています。

[資料2] 学級会の進め方(例)

1. はじめの言葉
2. 議題の確認
「親と子のコミュニケーションのよりよい方法を、みんなで考えます」
3. 保護者会で話し合ったテープを聞く。
4. テープを聞いた感想や意見を発表する。
5. 話し合い
「親と子のコミュニケーションを充実するためのルールづくりを中心に話し合う」
6. 決まったことを発表する。
7. おわりの言葉

※学級会の話し合いの様子やまとめを学級新聞や学級だよりで発行する。



3年 10月の経営目標

経営の重点事項		重点事項の実践方法	
		事前の準備	方 法
上旬	○こんな行為について考える	・学校、家庭、地域などでの同級生の気になる様子を書き、提出させ、学級担任がまとめ、プリントする。イラストなどを入れて興味・関心をひくようにする。中学生が問題行動を起こす要因の早期発見、いじめなどの実態把握に役立て、心をゆたかにするための学級担任としての願いを、講話としてまとめておく。	・進路などの決定に向け、意欲的に目標に取り組む生徒とそうでない生徒が目立ってくる時期であり、友達の生活が気になる。学級、家庭、地域のそれぞれの場で自分を生かしているか、また迷惑をかけていないか、プリントを見ながら自己反省をさせ、これからの生活に向かって自己確立をさせる。担任の生徒に対する思いを伝える。
	○みんなで解決しようー人間関係の悩みー		
中旬	○班活動を活発に	・進路のことが気になったり、学校行事が多く、ややもすると班活動がうっとうしくなり、協力しない生徒もふえてくる。その実態を把握し、活動が活発で、協力的な班の発表をしてもらうように、前もって了解を得ておく。	・班活動の活性化は、学級の活性化につながることを理解するために活発で協力的な班に、それぞれ、自分の班について、三分間スピーチをしてもらう。それをもとに班ごとで話し合い、話し合った結果を代表者に発表してもらい、班の今後の活性化のために、個人個人が協力する意識を育てる。
	○燃えよ最後の文化祭		
下旬	○読書の秋ー読書のすすめー	・中学生の読書率が減っている現状をとらえ、三年生が読んだ本の名前と冊数を、図書委員会で調査する。中学生の読書の状況を示した全国レベルでの調査報告と合わせて、プリントをしておく。	・プリントをもとに、読書に関する認識を高め、読書の秋というシーズンを機会に読書する習慣を身につけるようにする。家庭でも、この話を広げ、家庭で読んだ本の話題を提供できる雰囲気づくりに努力するよう励ます。
	○効率的な進路面談を		
	○親子のコミュニケーションーわが家の場合ー		
	○整理・整頓の工夫	・環境づくりの大切さを教えるとともに、効率のよい生活をおしすすめる姿勢を養うため、学級討論会“整理・整頓・じまん話大会”を開く係を決め、柱だてをする。	・「整理・整頓のためにこんな工夫をしています」という話を、意欲的に発表させる。
	○学級通信の発行		・司会者が中心となり、場所（机の中、本だな、部屋）を分けて発表させ。家庭の一員としての自覚を育てる。

3年

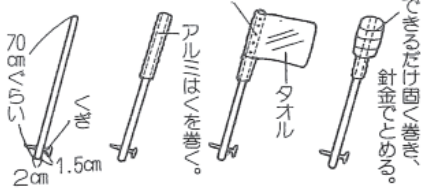
■10月の学級経営の資料とアイデア

燃えよ！ 最後の文化祭

火踊りと手づくり楽器のコンサート

【資料1】火踊り

① 棒のつくり方



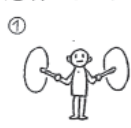
※注意

灯油をつけるとタオルがしまり、針金がゆるんで、途中でほつれてしまう危険があるので、灯油をつける直前に固くしめなおすこと!!

② 棒の持ち方



③ 棒の回し方



手首、ひじを使い、小さく回す。



腕を回し、大きく回す。



手首、ひじを使い、小さく8の字。



腕を回し、大きく8の字。



腕を伸ばし、頭の後ろで、回す。(トレーニングを要す)



走りながら、体の横で、小さく回す。(入退場するとき)

※②と⑥の組み合わせがメインです。できるだけ速く回せるようにトレーニングをしましょう。

- 単純な動きでも、そろそろ全体がきれいに仕上がる。
- 効果を盛上げるために、アフリカの音楽を流すとよい。
- 服装は、短パンに上半身ははだかで演技をする。



【資料2】手づくり楽器の例(打楽器を中心に)

1. 缶(少し大きめのコーヒー缶、ミルク缶など)

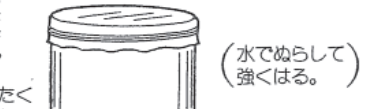


○缶の底を手や木などでたたく。
○缶はペイントで着色をする。

2. 丸いす

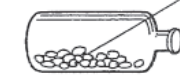


3. 大きい缶(ワックス缶、オイル缶など)木のたる(つけもの用など)



(水でぬらして強くはる。)

4. ペットボトル

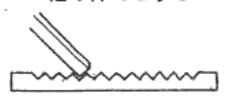


小石をたくさん入れる。

5. 木と木でたたく



6. 棒に切り目を入れて他の棒でこする



7. 空き缶に砂を入れて振る



※きくくらい砂を入れる。

- △留意点△
- 火を使う関係から、校庭で実施する。練習には必ず担任が立ち合って指導をする。
- 火踊りの演技者は、本番の演技の前に水をかぶっておく。
- 楽器を作る過程でお互いに協力し合ったり、ダンスの練習に取り組む中で、学級のみとまりをより強くすることをねらいとする。

(高橋 正尚)

きょうはどんな日?

10月30日

50年間無実を訴え続けた吉田石松に最高裁が再審請求を認めた(1982) / 『金色夜叉』の尾崎紅葉37歳で没(1903) / 豊田佐吉没(1930)

3年 11月の経営目標

経営の重点事項		重点事項の実践方法	
		事前の準備	方 法
上旬	○家庭生活の中で、自立心を育てる	・家庭の役割について、調査をする。家庭でどのようにして生活しているか、発表する要旨をまとめておく。	・人間が生きていくためには、精神的、経済的自立が大切なことを教える。現在の家庭生活での個々の役割について発表させ、アンケートの調査結果を知らせる。友達の意見を参考に、自分の家庭での生活を考え、家庭の一員として自覚させる。
中旬	○友情について考える	・文化的行事が多いとき、友達との協力が望まれる。一人より二人、二人より三人が協力することによって大きな仕事のできた経験談を、三人ぐらい生徒を選んで、学級パネルディスカッションを実施するための打ち合わせを持つ。	・パネルディスカッションを開いた後、友達に助けられてうれしかったことを班ごとに述べ合う。教師は、ロマン・ローランの『魅せられたる魂』の中から「私たちはもう人生という列車に乗ってレールをひた走っているのです。しかも手には帰りの切符は持っていないー。」を引用し、人生の意義や友達の大切さを話して聞かせる。
	○国際理解のために	・「あなたは、国際人としてどのように努力していますか」というテーマで作文を書き、文集にする。国際理解関係のビデオを用意する。	・ビデオを見た後、感想を述べ合う。授業を外国人教師から習っている場合は、学級に来て話をしてもらったり、交流会を持つとよい。
下旬	○文化祭の成果を今後の学校生活に活用する		
	○福祉活動への参加	・「私たちができる福祉活動」を、班ごとに帰りの学級活動で話し合っておく。	・ある班から出された手話活動について取り上げ、手話のできる生徒から手話を習う。朝の学級活動や帰りの学級活動のとき練習する。
	○自分で決めよう進路先		
	○視覚に訴える進路コーナー		
	○忘れ物をなくそう	・毎日の生活で忘れ物があるかどうか、一週間チェック表を作らせて記入させる。	・進路調査など、提出物が多い時期である。忘れ物は迷惑をかけることが多いことを話し、生活の基礎基本を習う。
	○学級通信の発行		

3年

11月の学級経営の資料とアイディア

自分で決めよう進路先

自分で進路を選び決定していくために

進路先を決定するにあたって進路先の訪問や入社、入学案内を取り寄せるなどの活動をとおり、情報を集めることが大切である。また、集めた情報を必要な項目ごとに整理することにより、進路先のようなすを正確につかまきたい。

△方法▽

(1) 資料1でチェックをしながら進路先の情報を集める。

(2) 集めた情報を表にまとめ整理をする。(資料2)

(3) 情報収集が不十分な項目については再度調査をする。

(4) 資料2を参考にしながら、進路先を六つの観点から検討をする。(資料3)

(5) 資料2・3の結果をもとに、保護者と話し合い、自分の考えをまとめる。

△留意点▽

○情報と自分の希望や条件(適性、学力、家庭の方針など)を十分に考慮して考えるように指導する。

[資料1]ステップ1

進路先の情報を集めよう!

3年()組()番()

1. 進路先を訪問しましたか。(あるいは進路先の説明会に参加しましたか)	Yes	No
2. 入社案内や入学案内を取り寄せましたか。	Yes	No
3. 自分の中学校から入社・進学した先輩から話を聞きましたか。	Yes	No
4. (進学の場合) ・ガイドブックや雑誌などで希望校について調べましたか。	Yes	No

○Noの項目については、すばやく調べて、進路先の様子を正確に理解しよう。

※進路希望については第3希望まで調べる。

[資料3]ステップ3

進路希望先に対する自己診断

3年()組()番()

進路希望先
第一希望() 第二希望() 第三希望()

○自分の将来の人生設計にそっているか。	1 2 3 4 5 そっていない ぶつつ だいいん強い
○進路希望先への希望の強さ(欲求度)は。	ぶつつ 強い だいいん強い
○自分の学力・適性に合っているか。	合っていない 可能性がある 十分合っている
○学校の校風や会社のようす(社風)に合っているか。	合わない ぶつつ 合っている
○家族の意見はどうだろうか。	反対 ぶつつ 賛成
○通学、通勤時間はどれくらいかかるか。	150分 120分 90分 60分 30分

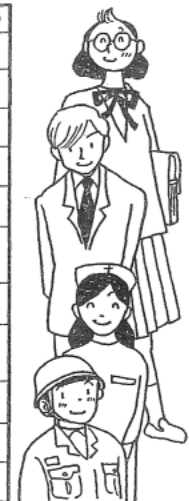
○自分で真剣に考えて5段階で自己評価をしてみよう。
○希望先ごとに3色で色分けをしよう。

※全体的に線が5に近づいていけば好ましい進路先ということになる。

[資料2]ステップ2

3年()組()番()				3年()組()番()			
学校名	所在地	TEL	会社名	所在地	TEL		
通学方法・時間			通勤方法・時間				
学校の教育目標・方針・校風・校則			業務内容				
設置されている課程と学科			就職時の仕事内容				
学習内容・科の特徴・選択科目など			会社が求めている人間				
教科以外の諸活動(学校行事・部活動)			定時制高等学校への進学状況				
得られる資格			労働条件や給与				
卒業生のおもな進路先とその特徴			福利厚生に関する施設・設備				
必要な学費と納入方法			入社志願者の選考方法				
入学志願者の選考方法			社員の話や様子				
在校生の話や様子			私の感想				
私の感想							

集めた情報を整理しよう!



3年 12月の経営目標

経営の重点事項		重点事項の実践方法	
		事前の準備	方 法
上旬	○規則について考える	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校生活も残り少なくなっていくとともに、学校の約束ごとが守れず、異装が目立ってきたり、遅刻が増えてきている。現状を見つめさせ、どんなことが守れ、どんなことが守れないか、項目別（遅刻、服装、授業中の態度、清掃、持ち物、下校時刻、部活動、生徒会活動など）に見直しをし、項目をプリントした用紙にまとまさせておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前準備でまとめたものを各班で話し合い、守れた点、守れなかった点を発表する。それをもとに「自由と自主」や「義務と責任」など、また「集団の一員としての自覚」などについて、学級討論会形式で意見交換させる。学級担任として、卒業を迎えるまで「こんなクラスにしたい」と思いを伝え、学級の一人ひとりが、自覚と誇りを持って生活できるよう努力する気持ちを喚起する。
	○「もし私がその立場に立ったら」－人権週間に寄せて		
中旬	○理想的なおとなになるためには	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路に向け、努力をしているときに、「なんのために自分はこのような努力しているのだろう」と、ふと不安になるものである。その状況をふまえ、「どんなおとなになりたいか」考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級活動の場を図書室におき、過去から現在までの有名な人々の伝記を読ませる。班ごとに本を選んでよいが、できれば、個々が本を選び、その中で何かを得、自分の生き方を求め、自分の将来への道しるべを見出し、努力する力を生み出させたい。個性を重んじる学級活動にしたい。
	○アンケートから見る私たちの21世紀		
下旬	○班替えの必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来月から、本格的に受験が始まる。ややもすると、学級本来の活動がおろそかになりがちになることもあるので、学級の様子を観察し、卒業期の準備に向け班活動ができる体制づくりについて考えさせておく。 ・ 受験期が近づくと、保護者と生徒との意向が違う場合が見られるので、十分連携を保つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業文集作成、お別れ会、卒業前の奉仕活動に向け、各リーダーを決め、文集リーダー班、お別れ会実行委員会班など、活動ごとに中心となる班を作る。その班が中心になってリーダーとなり、スムーズに行事をおしすすめるよう努める。 ・ 高校中途退学者が増えている現状をふまえ、入れる学校より行きたい学校の受験や、就職先で身に付けたい技術が養える会社を選ぶなど話し合う。
	○学習環境づくりーベスト6 ○保護者と教師の連携 ○進路決定に向けて ○学級通信の発行		

3年

12月の学級経営の資料とアイデア

学習環境づくりBest 6—3か月を悔いなく過ごすために！

- 九年間の義務教育も、あと三か月あまりとなってきた。この時期に落ち着いて学習するために、グループごとに学習環境について考え発表させる。
- △方法▽
- (1) 六つのグループをつくる。
 - (2) テーマ（資料1）をあらかじめ準備しておく。
 - (3) グループごとに取り組むテーマを選ぶ。
 - (4) テーマについて話し合い、構想をまとめる。（資料1）
 - (5) 必要に応じて教室内の掲示場所を決め、学習環境づくりをする。（資料2）
- △留意点▽
- 学習環境づくりにポイントをおいて指導する。
 - 話し合いの過程では、自由に多くの意見を出せるようにグループごとに指導する。
 - 構想がまとまりにくいグループに関しては、担任がヒントを与える。

【資料1】 テーマおよびアイデアの例

テーマ 勉強と健康 <ul style="list-style-type: none"> ○健康だよりの発行 ○健康標語の掲示 ○よい姿勢の掲示 習慣化しよう、よい姿勢 <ul style="list-style-type: none"> ・背すじをまっすぐ。 ・胸をはる。 ・イスは深く座る。 	テーマ 不得意科目の征服 <ul style="list-style-type: none"> ○私の不得意科目の征服法 ・アンケート調査を実施し、結果を掲示する。 ○先生方のひと言アドバイスをまとめる。 	テーマ 効果的に整理しよう <ul style="list-style-type: none"> ○自分に合った学習品を見つけよう。 ○家庭学習の勉強機の掲示 能率のあがらない机 能率のあがる机
テーマ 効果的な時間の使い方 <ul style="list-style-type: none"> ○3か月のスケジュールをつくらう。 ○1日のスケジュールをつくらう。 ・工夫したスケジュール表を考え、掲示する。 	テーマ 卒業だぜ!! 常用漢字を覚えよう <ul style="list-style-type: none"> ○毎日漢字テストを実施する。 ○常用漢字のプリントを作って配布する。 ○漢字新聞を作成する。 	

【資料2】 教室の掲示例

（高橋 正尚）

窓側

3年 1月の経営目標

経営の重点事項		重点事項の実践方法	
		事前の準備	方 法
上旬	○本年の計画と心がまえ	・年頭にあって、格言を一人が十ずつ考えておく。その格言を使って、365日、一年間の格言短冊を作るため、短冊と書道用具を用意しておく。	・「一年の計は元旦にあり」「雨だれ石を穿つ」など、格言を短冊に筆で書く。クラス全体で出し合う格言を短冊に作るが、組み合わせは個々の生活に合わせて、自由に組ませる。
	○三学期を“日々是好日”に一週間カレンダーづくり		
中旬	○効果のあがる学習法の工夫	・いよいよ就職も進学も受験期を迎え、学習の見直しをし、努力しなくてはならない教科対策について考えておく。	・教室に5教科（国語、社会、数学、理科、英語）のコーナーを作り、それぞれの教科に得意とする生徒を三人ずつおき、不得意な人が自由に相談に行けるようにする。担任は各コーナーを回って適切なアドバイスをする。
	○三学期の係活動	・卒業期に向けて、その準備活動について検討しておく。（例－卒業準備委員会、卒業制作委員会、文集作成委員会の設置準備）	・各委員をクラスで選び、その仕事の内容をおさえておく。受験期であるが、委員会活動に楽しみを持たせ、ストレスを解消させる。
	○手作りの百人一首		
	○進路決定の確認	・進路先の確認をする。願書の書き方、受験日の持ち物など、資料を見て自主的にメモをしておく。	・受験当日に向けての全般的注意事項を、担任から与える。個々の受験先の確認と、かかる時間について掌握する。就職先の業務内容の把握をする。
	○学級通信発行		
下旬	○スランプ脱出法		
	○常緑樹と水栽培の落ち着いた教室環境	・班ごとに、常緑樹と水栽培の一鉢ずつを用意しておく。	・落ち着いた心を、植物を育て命を育むことにより、養っていく。ゆったりしたムードをつくることで、学級全体も落ち着いた雰囲気にする。
	○冬の環境づくり ○わが家のお正月	・学級担任と保護者で、学級会を開く計画を立てる。	・受験期を迎えるにあたって、まず親の不安をとり、子どもに協力できるように、担任と保護者の会を開き、わが家のお正月をテーマに話し合う。鏡開きとしゃれて「ぜんざいパーティー」をしてもよい。

3年

■1月の学級経営の資料とアイディア

1月の学級通信例

書き初め

新年に初めて文字を書くこと、またその行事のこと、ふつう正月一日に毛筆で行う。書き初めは江戸時代寺子屋教育の普及に伴って一般化したものようで、明治のはじめには一時おとろえたが、その後、書道や習字教育の発展とともに年々盛んになった。

☆校内書き初め展
金賞おめでとう
小野文子さん

初光五色雲
三年 小野文子

※作品は体育館に掲示してあります。



私の猪突猛進
今年の干支はイノシシ。君は何に向かっばく進めるか。
根本英実くん
せつばつまった私はもちろん勉強に専念するだろう。だけどこういふときだからこそ、私は人間関係を大切にしたい。また、生徒会の仕事を責任を持って果たしたい。とにかく三学期もマイペースで取り組み、そして自分を見失わないようにがんばりたい。



川嶋佐保子さん
三年の今はいちばん大変な時期だと思えますが、ただ単に勉強だけしてこの卒業までの数か月を過ごすのはとてもさびしい。中学校を卒業するとみんな別々の道を歩きます。だから、私はこの短い時間で、何年後かに再会したとき、今のときのことを話してなつかしくなるような思い出がほしいと思いました。勉強も大切だけど、やっぱり私の目標は、『悔いの残らない中学校生活にする』です。



○継続は力なり!!
一組ファイト!!
ファイト!!

ひとこと
新学期早々の学級活動の時間に、今年の抱負を書きました。ほとんどの生徒は、三月の卒業までに勉強も友達との交流も精いっぱいがんばって、悔いを残さないようにしようといった内容でした。
今まさにエンジン全開の状態です。しばらく苦しくてつらい日々が続きますが、健康に十分注意して努力しましょう。

《留意点》 ○就職試験、出願手続きの始まる時期にあたって、進路情報や注意事項などの記事を書けると、生徒の不安を取り除く助けとなる。

目標を決めて一歩一歩着実に

中学校生活最後の学期がスタート!!

飛翔

1月11日

3年2組
学級通信

新年あけましておめでとう。
新しい年、中学校生活最後の学期がスタートしました。自分の目標を達成する年の幕あけです。
一人ひとりが自分の進路に向かって、全力で努力していきましょう。

〈学年集会
高橋先生の話より〉

三つの顔の
人がある…？

どのクラスにも三つの顔の生徒がいます。一つ目は、目標が決まって、よし、がんばろうという顔。授業や課題に対して本当に真剣に取り組んで、理解して吸収してやろうという姿勢が先生にも伝わってきます。二つ目は、目標は決まっても、不安が先行して勉強に集中できない顔。教科書は一応開いているが、授業中に全部理解して、全部わかるという意気込みが伝わってこないのです。三つ目は、あきらめたり、投げやりになっ

ている顔。忘れ物をする、教科書を開かない、授業に集中できないという状態です。さて、自分はこの顔でしようか。一つ目の顔の人は今の調子で目標に向かって努力してください。二つ目、三つ目の顔の人は授業への取り組み、家庭学習の進め方などをもう一度再検討してください。ただ三つの顔に共通して言えることは『目標は決まった』ということです。今は学習面でも三年間でいざばん努力しやすい環境にあります。じたばたせずに、目標に向かって一歩一歩着実に努力することが大切で、それが今後の人生に必ず生きてくると思っています。

「進路ニュース」

○出願に必要なものを準備しよう

(1)入学願書…下書きをし、担任の点検を受けてから清書をしましょう。

(2)写真…大ききサイズ、枚数を募集要項で確認してから準備をしましょう。

(3)受験料

☆注意事項

①募集要項、願書などはすみずみまでよく読む。

②書類不備に十分注意する。(印もれ、記入もれ)

③出願日は学校で指定するので、勝手に行わないこと。

④出願時から試験は始まります。服装、持ち物に十分注意する。

⑤受験票は入学手続き終了まで大切に扱う。志願変更、合格発表などに必要です。



1月の行事予定

31	27	26	24	21	18	17	13	11
火	金	木	火	土	水	火	金	水

校内書き初め展	専門委員会	私立高校願書準備	公立高校願書準備	学年集会	後期生徒総会	私立高校出願
---------	-------	----------	----------	------	--------	--------

掲示板



受験期をひかえて

(保健室より)

今年はずいぶん大流行の年。この時期を無事に乗り切るための三ヶ条

一、少しでも体に不調を感じたら、厚着をして体を暖める。早めに診療を受けること。

二、睡眠の型を朝型に直しておく。夜は十一時ごろまでに寝て、朝は六時までに起き、九時から始まるテストに十分頭が働くようにしておく。

三、朝食をしっかりと食べ、午前中に使う栄養分を補給し、頭の回転をよくしておく。

無事、目標達成を祈る。

○学年集会の内容を載せることによって、生徒にその内容を再確認させる。

3年 2月の経営目標

経営の重点事項		重点事項の実践方法	
		事前の準備	方 法
上旬	○学級通信の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族の一員として、どのように家庭生活を送っているか、「私の家庭」という作文を書かせておく。あらかじめ、その作文を担当が読んで発表者を決めておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「私の家庭」と題した作文を読み、感想を班ごとに話し合い、親子の愛情の大切さ、家庭の一員としてのあり方を考えさせる。いちばん小さな集団は家庭であり、その中にもルールがあること、さらに家庭に対する感謝の気持ちが自然に思いやりの心を育てることに気付かせる。
	○望ましい親子の人間関係—家庭の一員として		
中旬	○卒業に向けて—毎日書こう“心の軌跡”	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入社試験、高等学校入試に向けて、学習試験も大切であるが、最近、個性を尊重する上で、面接が重んじられるところが多いことを話しておく。また、面接の仕方のマニュアルを作って配布しておく。 ・ 進路が決定した生徒、これから受験する生徒と、不安定なこの時期こそ、班がまとまり、力を合わせて目標達成に努力することが大切であることを話させる。そのためにはリーダーの人格が大いに影響するので、「好きです、こんな班長さん」というテーマでアンケートをとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ここにマニュアルを熟読させ、班の中でお互いに試験官と受験生の役を一組として、面接の練習をさせる。ほかの班員はその練習を見て、感想を述べ合う。その後、クラスで一組選び、モデル発表をし、担任が感想を述べる。最後に担任が試験官となり代表生徒と面接を行い、まとめとする。 ・ アンケートの結果を発表、リーダーを養成する上に役立てる。そして、リーダーの理想像を描き、その理想に向かって少しずつ、三年の終わりにお互いに自覚を持って成長する心を養う。担任は「話のネタ本」などを使って、世の中のリーダーの生き方を考えさせる。
	○入試に向けて—面接指導		
下旬	○今、何が大切？心の準備を—励ましの言葉を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三年間使った校庭や校舎の清掃を中心に、美しい環境づくりに励む心構えを養う。その実践のための計画表を作る。学年全体で取り組むため、学級としてどこを重点的に努力するか話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美しい心を養うのは、環境づくりが大切であることを教え、下級生に美しい環境の贈り物をするため、学級で力を合わせる（教室みがき、花植え、公共物の修理、床のワックス塗りなど）。
	○班の活性化の工夫—好きです、こんな班長さん		
下旬	○みんなで作る卒業文集	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三年間使った校庭や校舎の清掃を中心に、美しい環境づくりに励む心構えを養う。その実践のための計画表を作る。学年全体で取り組むため、学級としてどこを重点的に努力するか話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美しい心を養うのは、環境づくりが大切であることを教え、下級生に美しい環境の贈り物をするため、学級で力を合わせる（教室みがき、花植え、公共物の修理、床のワックス塗りなど）。
	○下級生への美しい環境の贈り物		
下旬	○人生の先輩の生き方に学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三年間使った校庭や校舎の清掃を中心に、美しい環境づくりに励む心構えを養う。その実践のための計画表を作る。学年全体で取り組むため、学級としてどこを重点的に努力するか話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美しい心を養うのは、環境づくりが大切であることを教え、下級生に美しい環境の贈り物をするため、学級で力を合わせる（教室みがき、花植え、公共物の修理、床のワックス塗りなど）。
	○下級生への美しい環境の贈り物		

3年

■2月の学級経営の資料とアイデア

2月の学級通信例

後期生徒会の感想

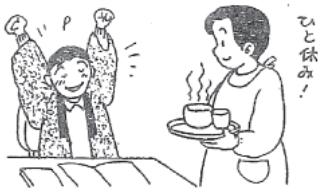
総会書記 長江麻理子さん

二十六日に生徒総会がありました。私は議長団でしたので、ステージからみんなの様子を見ていました。三年生にとっては最後の生徒総会でした。生徒会の発表を聞くときや各クラスの意見を聞くとき、全てに真剣さが感じられました。三年生の発表では、一、二年生に西本郷中の伝統を受け継いでほしいという気持ちが、ひしひしと伝わってきました。



受験直前の家庭学習

- ◎あせりは禁物。一歩一歩着実に努力しよう。
- (1)生活のリズムを保とう。
・早寝早起きに心がける。
・八時間の睡眠時間を確保しよう。
 - (2)気分転換をしよう。
・自分で工夫して休憩や気分転換(簡単な体操、散歩、入浴の工夫など)をしよう。
 - (3)効果的な記憶法を活用しよう。
・ノートを活用し、覚えたいことをもう一度整理してみよう。教科書を中心に自分の頭でまとめ直して書くことが大切。できれば表にまとめるのもよい。



募集

卒業記念文集委員を募集します。
(〇〇〇〇)「開いてみるとなつかしさがいつぱいつまっている文集をつくりまします」

総会議長 大江佳弘君

ぼくは、中学校生活最後の思い出として議長をしようと思いい、立候補しました。しかし、実際には議長というほどの仕事はできなかったような気がします。やったことがなかったから、一回経験した小林君に頼ってしまっ、進行もつまりがちでした。でも、自分では精いっぱいやったつもりなので、いい経験をしたと思っています。



前本役員 大竹裕子さん

今回の後期生徒総会を終え、新本役員の堂々とした態度に頼もしさを感じました。いろいろな意見をくみ取りながら、少しずつ西本郷中をよい方向へ引っ張っていかけてくれるのではないかと思います。



ひとこと

卒業まであと〇日のカウントダウンが黒板に書いてあるようになりました。入学試験の日も刻々と近づいてきています。高等学校へ進む人、就職する人、それぞれ大きな試験に立ち向かっていることでしょう。人間には節目ということがあります。卒業という節目を豊かな心で明るく迎えることができるかどうかは、この試験を乗り越える強い意志があるかどうかにかかっていると思います。一組のみなさんとにかく全員ガンバレ!!



【留意点】○入学試験の持ち物、受験直前の家庭学習などを載せ、家庭での話題の助けとする。

きょうは
どんな日?

2月25日

堀保己一が「今物語」を刊行(1766)/輸入ビールに対抗し「恵比寿ビール」発売(1890)/金泳三が韓国大統領に(1993)

入試直前対策特集



Do your best!!



飛翔

2月1日

3年2組
学級通信

備えあれば、うれしいし

要項をよく読んで、入試に向けての点検表を事前に作成しておきましょう。

●入試前日～当日のチェックポイント

進路ニュース

入学試験実施の月になりました。私立高校、公立高校の出願も今週で終わり、いよいよ本番の試験を待つのみです。先日、学級で『面接の受け方』のビデオを見ました。面接がある人もない人も関心があるらしく、その真剣なまなざしを見ながら、担任は「なかなかいい雰囲気、クラス全体が集中しているな。この調子でがんばれ!!」と、心の中でつぶやきました。

さあ、一組のみなさん、自分の志望校を目指して最後まであきらめず、粘り強く努力しましょう。就業者は合格がきまり、おめでと。

入学試験実施の月になりました。私立高校、公立高校の出願も今週で終わり、いよいよ本番の試験を待つのみです。先日、学級で『面接の受け方』のビデオを見ました。面接がある人もない人も関心があるらしく、その真剣なまなざしを見ながら、担任は「なかなかいい雰囲気、クラス全体が集中しているな。この調子でがんばれ!!」と、心の中でつぶやきました。

●試験場に早めに着くように家を出る。

●持ち物を確認、点検する。(点検表に基いてチェックをする)

●時間に遅れないように、余裕を持って起きる。

●所持品のチェック

●身だしなみのチェック

●受験校までの交通手段(道順も含めて)を再確認しておく。

●準備ができたなら、早めに寝て明日に備える。

●当日

●身だしなみのチェック

●受験校までの交通手段(道順も含めて)を再確認しておく。

●準備ができたなら、早めに寝て明日に備える。

●当日

●身だしなみのチェック

●受験校までの交通手段(道順も含めて)を再確認しておく。

●準備ができたなら、早めに寝て明日に備える。

●当日

●身だしなみのチェック

●受験校までの交通手段(道順も含めて)を再確認しておく。

●準備ができたなら、早めに寝て明日に備える。

●当日

●身だしなみのチェック

●受験校までの交通手段(道順も含めて)を再確認しておく。

●準備ができたなら、早めに寝て明日に備える。

●当日

●身だしなみのチェック

●受験校までの交通手段(道順も含めて)を再確認しておく。

●準備ができたなら、早めに寝て明日に備える。

●当日

●身だしなみのチェック

●受験校までの交通手段(道順も含めて)を再確認しておく。

●準備ができたなら、早めに寝て明日に備える。

●当日

●身だしなみのチェック

●受験校までの交通手段(道順も含めて)を再確認しておく。

●準備ができたなら、早めに寝て明日に備える。

鬼は外!!

弱気な自分!!
不安だらけの自分!!
ストレス!!

鬼は外!!

福は内!!

家庭に幸福がおと
ずれますように!!
目標が達成できま
すように!!
健康でありますよ
うに!!

福は内!!

挑戦してみてもいいかながでしよう。

ご家庭でも福が来るように、豆まきに

挑戦してみてもいいかながでしよう。

ご家庭でも福が来るように、豆まきに

挑戦してみてもいいかながでしよう。

ご家庭でも福が来るように、豆まきに

挑戦してみてもいいかながでしよう。

ご家庭でも福が来るように、豆まきに

挑戦してみてもいいかながでしよう。

ご家庭でも福が来るように、豆まきに

挑戦してみてもいいかながでしよう。

ご家庭でも福が来るように、豆まきに

挑戦してみてもいいかながでしよう。

ご家庭でも福が来るように、豆まきに

挑戦してみてもいいかながでしよう。

ご家庭でも福が来るように、豆まきに

挑戦してみてもいいかながでしよう。

ご家庭でも福が来るように、豆まきに

挑戦してみてもいいかながでしよう。

ご家庭でも福が来るように、豆まきに

挑戦してみてもいいかながでしよう。

ご家庭でも福が来るように、豆まきに

挑戦してみてもいいかながでしよう。

ご家庭でも福が来るように、豆まきに

挑戦してみてもいいかながでしよう。

ご家庭でも福が来るように、豆まきに

挑戦してみてもいいかながでしよう。

掲示板



2月の行事予定

27	23	22	21	20	9	8	7	6	3	2	1
月	木	水	火	月	木	水	火	月	金	木	水
卒業遠足	公立高校入試	私立高校入試	私立高校入試・面接	学年末試験(音・社・国)	学年末試験(技・英・理)	専門委員会	公立高校出願	私立高校出願	全校朝会		

3年 3月の経営目標

経営の重点事項		重点事項の実践方法	
		事前の準備	方 法
上旬	○未来への飛翔準備	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの進路が決定して、毎日、希望を持ち、張り切る時期である。個々の進路の決定に努力したことや、これからのためにどのような準備をしているかまとめ、発表できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路を決定するにあたり、どのような努力をしたか、まとめておいたものを班の中の代表一人に発表させる。また、今後どのように準備するかも合わせて発表させる。努力なしでは、道が開かないことをわからせる。
	○われら中学時代の仲間たち	<ul style="list-style-type: none"> 中学時代の思い出のビデオを作る。校内の思い出の場所や、中学時代の行事についての思い出のインタビューなど、班で工夫をして、十五分ぐらいのものを作っておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 作っておいたビデオをクラスで見、感想を述べ合う。それを編集して、卒業の記念とするのもよい。よりよい思い出を胸に卒業していく心構えを育てる。
	○すばらしい未来へ		
中旬	○学問はなぜ必要なのだろうか	<ul style="list-style-type: none"> 「学問のすゝめ」(福沢諭吉)など、学問はなぜ必要なのか、本からピックアップして、プリントをし、配り、次時まで読ませて感想をまとめておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 今までは、進路の決定のために、学習が大切であると思いこんでいる生徒が多いが、これからは、将来に向け、よりよき人生を送るために、学問が大切であることをわからせる。
	○ファイナルイベント		
	○班活動で得たもの		
	○教室ありがとうーその心を地球にやさしく	<ul style="list-style-type: none"> 卒業の前に、今まで使った教室に感謝の心をこめて整備をし、磨きあげる。植え木や、草花の鉢植えの手入れもしておく。不要物などについては、捨てるだけでなく再利用の工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級で班ごとに作業の分担を決め、班ごとに、手順よく作業をする。作業で出た不要物は、それぞれ分配収集をする(紙、木片、木、ぞうきん)。黒板の片すみに「ありがとう」とひと言書いておく。
	○最後の学級懇談会ー卒業を保護者とともに祝う会		
	○心温まる卒業式にするために	<ul style="list-style-type: none"> 卒業の日を控え、巢立ちゆくまでの心構えについて考えさせておく。 	<ul style="list-style-type: none"> どんな心で卒業式に出席するか、担任として、留意することを話す。感謝する心の大切さと、セレモニーを成功させるためのマナーの大切さをわからせる。
	○家族としての自覚	<ul style="list-style-type: none"> 国際家族年としての感覚を教え、マークのシールを用意しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> いちばん小さな家族集団としての自覚を身に付けさせる。シールを配り、卒業記念とする。
	○学級通信の発行		

ファイナル—Study quiz festival—いかそう！ 中学時代に学んだこと

いかそう！ 中学時代に学んだこと

方法

(1)学級のイベントグループがクイズ大会の原案を作成する。

(資料1)

(2) 学級会で原案を審議し決定する。

(3) クイズのテーマを六つ決定する。
(資料2)

(資料2)

(4)男女混合の六つのグループをつくり、グループごとに六つのテーマの中から一つのテーマを選び、クイズを作成する。

(5) グループ対抗クイズ大会を実施する。

▲留意点▼

○各グループで出題内容や発表方法などを工夫させ、楽しく内容のあるものにさせる。

○クイズ作成の過程を評価するわ
らいで、賞に「アイディア賞」
や「作問賞」などをもうける。

[資料2]

3年2組イベントグループ

(川瀬、岩城、酒井、小林)

①授業、行事、係活動、部活動などで学んだことをテーマにしてクイズをつくり、盛大なクイズ大会を開く。

②クイズをつくる活動を大切にし、グループ内の親睦を深める。

③クイズ大会では、おおいに楽しみ思い出に残るようにする。

平成7年3月3日(金)
3・4校時

ワイワイガヤ
ガヤ、親睦を
深めよう。

- ・楽しいイベントにしよう！
- ・工夫してユニークなクイズをつくろう！

- ① 学校会での大会の原案、6つのテーマを審議し決定する。
- ② グループごとにテーマを1つ選び、クイズを作る。
- ③ 1グループで10問ぐらいのクイズを作る。
- ④ 当日の運営方法
 - ① 同会者の指示にしたがって、グループごとにクイズを出題する。
 - ② 賞を決定し、賞状と手作りの記念品を与える。

- ・ 司会、進行、大会実行委員長、大会の進行表記録 (VTR、写真など)……………イベントグループ
- ・ 会場準備(飾り付けも含む)……………A・Bグループ
- ・ 賞状作成……………Cグループ
- ・ 手づくり記念品の作成……………Dグループ
- ・ 個人解答用紙、掲示用グループ集計用紙……………Eグループ
- ・ Study quiz festivalのしおり作成……………Fグループ

○大会の様子を写真撮影し教室に掲示する。
○賞の種類例として、1位～3位、作問賞、個人優秀賞などが考えられる。

- ①西本郷中あれこれ!!
(先生方の平均年齢は? 校庭の鉄棒の数は?
被服室のミシンの数は?)
- ②3年2組学級のあゆみ
(事前に1年間の学級のあゆみを作成し、配布し
ておくと効果的)
- ③漢字クイズ
(択一問題でユニークなもの)
- ④教科書クイズ5教科編
(あくまでも基本的なもの、○×ゲーム、択一問
題、Yes or No、などの形式がよい。)
- ⑤教科書クイズ4教科編
(音楽鑑賞ゲーム、スポーツルールゲームなど)
- ⑥ほら!! ほら!! 一般常識
()
- ⑦3年2組 私はだれでしょう。
(クラスで輝いた生徒の特徴を話してみんなで考
える。似顔絵があると盛り上がる。)

